

地球温暖化対策に関する意識調査報告書

令和3年9月

石 川 県

目次

1. 県民意識調査の概要	
1-1 調査目的	1
1-2 特徴的な集計結果	1
1-3 調査項目	1
1-4 調査方法	2
1-5 調査対象と標本の抽出方法	2
1-6 実施期間	2
1-7 回答者数と回収率	2
1-8 回答者の内訳	3
2. 県民意識調査結果	
2-1 地球温暖化問題への関心や意識について	5
2-2 地球温暖化防止に向けた取組について	11
2-3 気候変動による影響について	16
3. 事業者意識調査の概要	
3-1 調査目的	19
3-2 特徴的な集計結果	19
3-3 調査項目	20
3-4 調査方法	20
3-5 調査対象と標本の抽出方法	20
3-6 実施期間	20
3-7 回答者数と回収率	20
3-8 回答者の内訳	21
4. 事業者意識調査結果	
4-1 地球温暖化問題への関心や意識について	23
4-2 地球温暖化防止に向けた取組の状況について	26
4-3 気候変動による影響について	29
5. その他	
5-1 県民意識調査票	32
5-2 事業者意識調査票	40
5-3 調査業務の委託を受けた者	48

1. 県民意識調査の概要

1-1 調査目的

近年、地球温暖化による私たちの生活への影響が現れ始め、その対策が喫緊の課題となっていることから、石川県としても様々な取り組みを行っている。

県民の地球温暖化対策に関する対する意識や行動を把握するとともに、石川県環境総合計画改定の基礎資料とするために実施した。

1-2 特徴的な集計結果

調査の結果、「地球温暖化に対する非常に関心が高く、深刻な問題」と考える県民の姿が見えてきた。

■ 8割以上が「地球温暖化に関心」

地球温暖化に関心がある人は全体の8割を超え、9割以上が深刻な問題と考えている。

■ 「自然災害への対策」が7割超え

気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）では「自然災害（洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など）」が78.6%と他の項目より高い結果となった。身の回りでどのような気候変動による影響を感じるかにおいても「洪水・土砂崩れ、高潮・高波などの自然災害の増加」が77.4%と自然災害に対して意識が向いていることがわかった。また、地球温暖化（気候変動の影響）に関心を持ったきっかけも「近年、異常気象（豪雨、猛暑など）の影響で被害が生じているため」が91.3%と最高であった。

1-3 調査項目

調査項目は、以下とした。

- ① 地球温暖化問題への関心や意識について
- ② 地球温暖化防止に向けた取組について
- ③ 気候変動による影響について

1-4 調査方法

郵送配布、郵送回収方式とした。調査票を配布して約2週間後を返送（投函）の締め切りとした。締め切りの1週間前から、返送を促す督促状を全員に配布した。また、Web上でも回答できるようにした。

1-5 調査対象と標本の抽出方法

調査対象は石川県全体の20歳以上の県民とし、住民基本台帳から19市町をそれぞれの抽出単位層とする層化無作為抽出法により、2,000人を抽出した。

各市町別の抽出者数は次の表のとおり。

区分	市町名	20歳以上人口※	構成割合	①抽出地点数	②対象者数 (①×5)
能登北部	輪島市	20,709	2.25%	9	45
	珠洲市	11,418	1.24%	5	25
	穴水町	6,821	0.74%	3	15
	能登町	13,670	1.48%	6	30
能登中部	七尾市	43,086	4.67%	19	95
	羽咋市	17,151	1.86%	7	35
	志賀町	15,914	1.73%	7	35
	宝達志水町	10,372	1.12%	4	20
	中能登町	13,654	1.48%	6	30
石川中央	金沢市	376,016	40.77%	163	815
	かほく市	28,347	3.07%	12	60
	白山市	88,918	9.64%	39	195
	野々市市	43,409	4.71%	19	95
	津幡町	29,531	3.20%	13	65
	内灘町	21,577	2.34%	9	45
南加賀	小松市	84,281	9.14%	37	185
	加賀市	53,439	5.79%	23	115
	能美市	39,232	4.25%	17	85
	川北町	4,715	0.51%	2	10
	計	922,260	100%	400	2,000

※石川県人口統計年齢別推計人口(R2.10.1現在)から引用

1-6 実施期間

調査票配布は令和3年7月30日(金)、締め切りを令和3年8月16日(月)とした。

1-7 回答者数と回収率

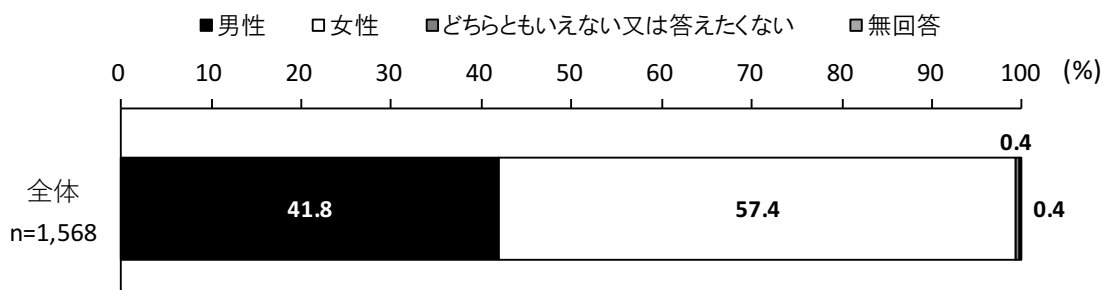
県民調査の有効回答者数は1,001人、回収率は50.1%となった。これに加え、県政（インターネット）モニターを対象とした同調査の567件を追加し、合計1,568件を全体数とした。

1-8 回答者の内訳

回答者の内訳は、以下のとおりであった。

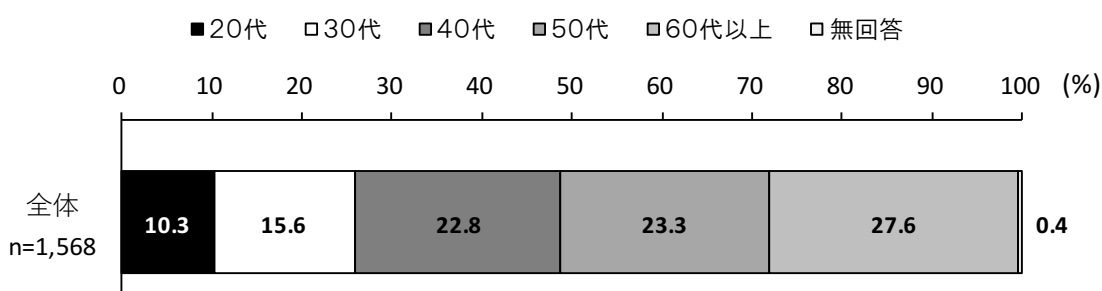
①性別

男性が 41.8%、女性が 57.4%で、女性の回答が高くなった。



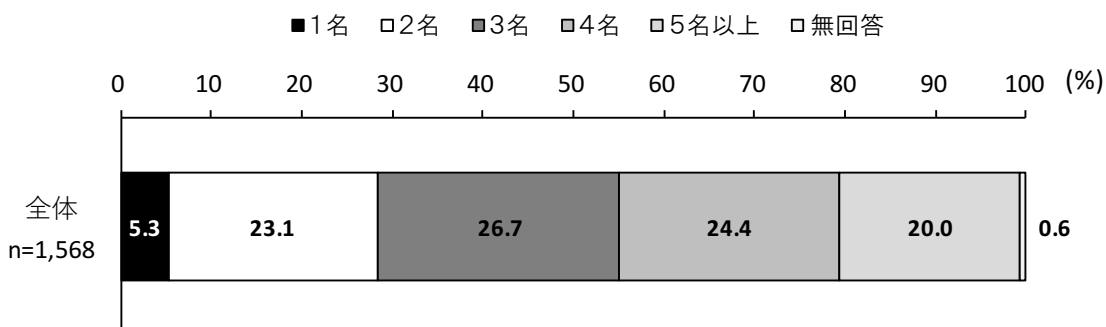
②年齢

年齢別では 60代が 27.6%と最も高く、次いで 50代(23.3%)、40代(22.8%)、30代(15.6%)となった。20代は 10.3%と低かった。



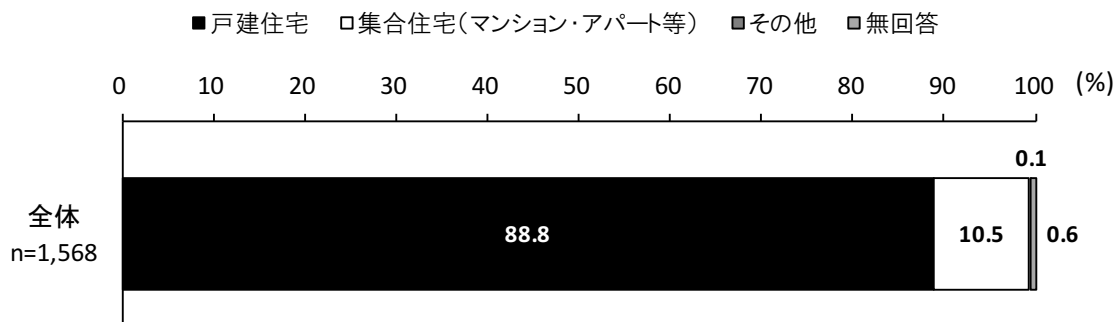
③世帯構成

世帯構成別では 3名が 26.7%と最も高く、次いで 4名(24.4%)、2名(23.1%)、5名以上(20.0%)となった。



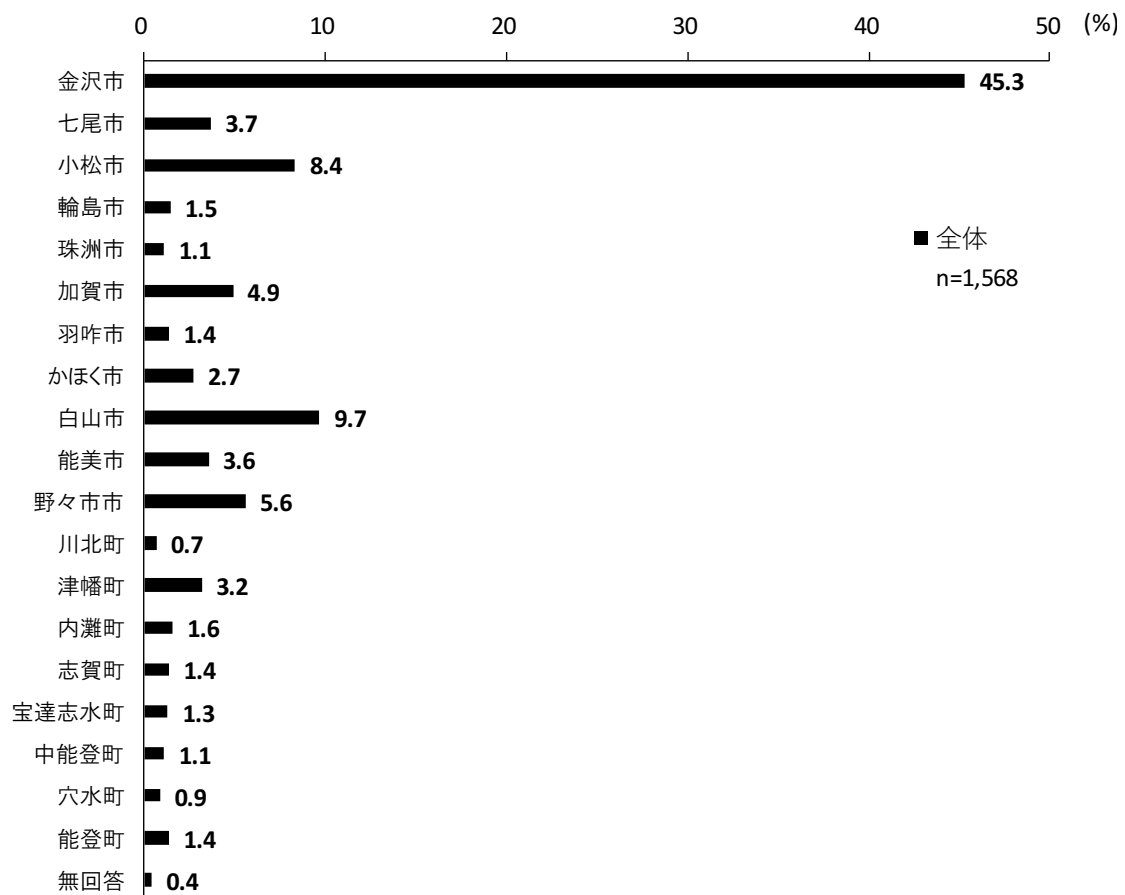
④住まいの形態

住まいの形態別では戸建住宅が88.8%と最も高く、次いで集合住宅（マンション・アパート等）（10.5%）となった。



⑤所在地

所在地別では各市町の人口比と同じ割合の回答となっている。

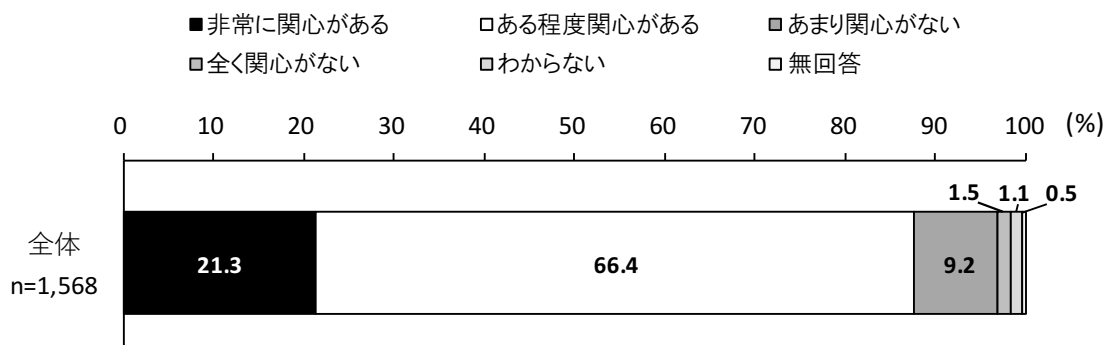


2. 県民意識調査結果

2-1 地球温暖化問題への関心や意識について

問1. あなたは、地球温暖化（気候変動の影響）について、どのくらい関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

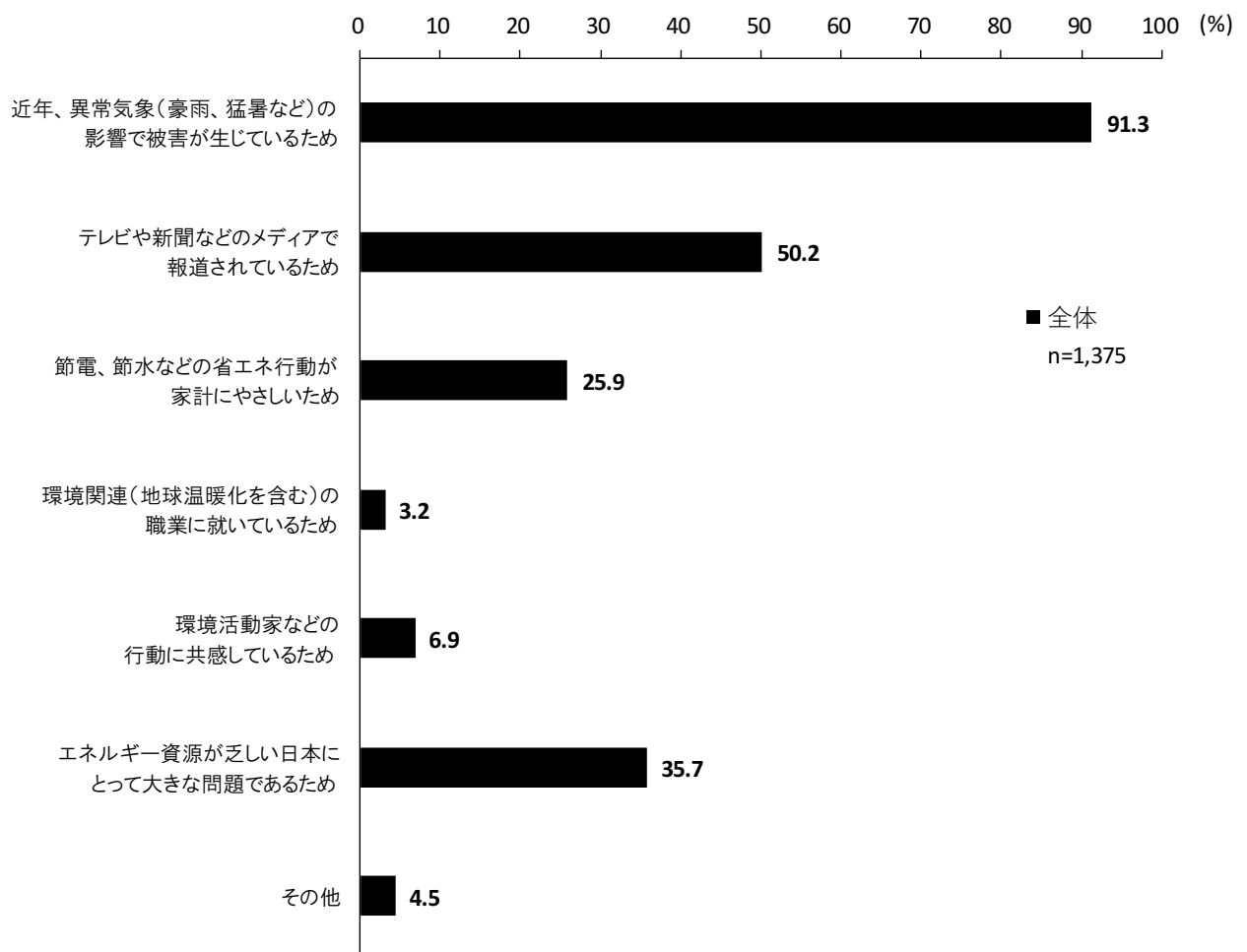
「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると87.7%となり、8割以上の人が地球温暖化（気候変動の影響）に関心を持っていることが分かった。



問2. 問1で(1)(2)を選択された方にお聞きします。どのような理由により、地球温暖化（気候変動の影響）に関心を持たれたのですか。あてはまるものを全て選んでください。

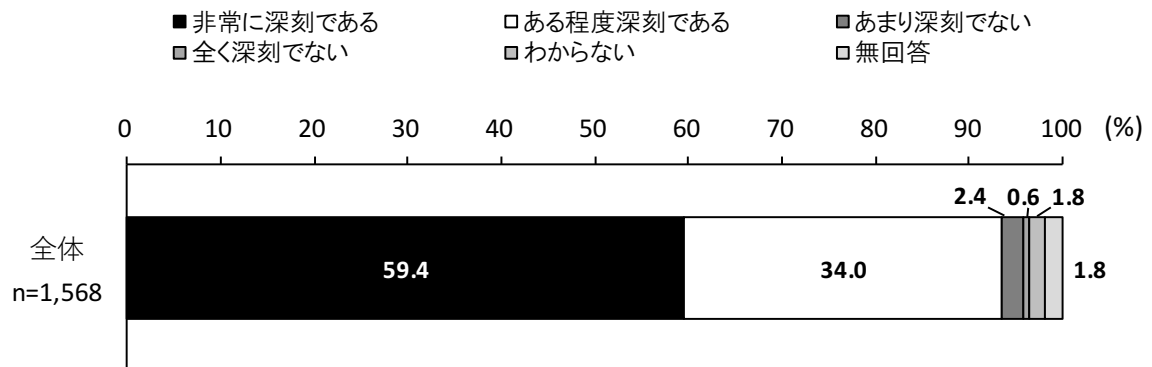
「近年、異常気象（豪雨、猛暑など）の影響で被害が生じているため」が91.3%と最も高く、「テレビや新聞などのメディアで報道されているため」が50.2%、「エネルギー資源が乏しい日本にとって大きな問題であるため」が35.7%と続いた。

その他の回答では「大学にて環境学を履修していたため」「勤務先の環境教育」「科学的知見から関心がある」などがあつた。



問3. あなたは、私たちが生活していく中で、地球温暖化（気候変動の影響）は深刻な問題だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

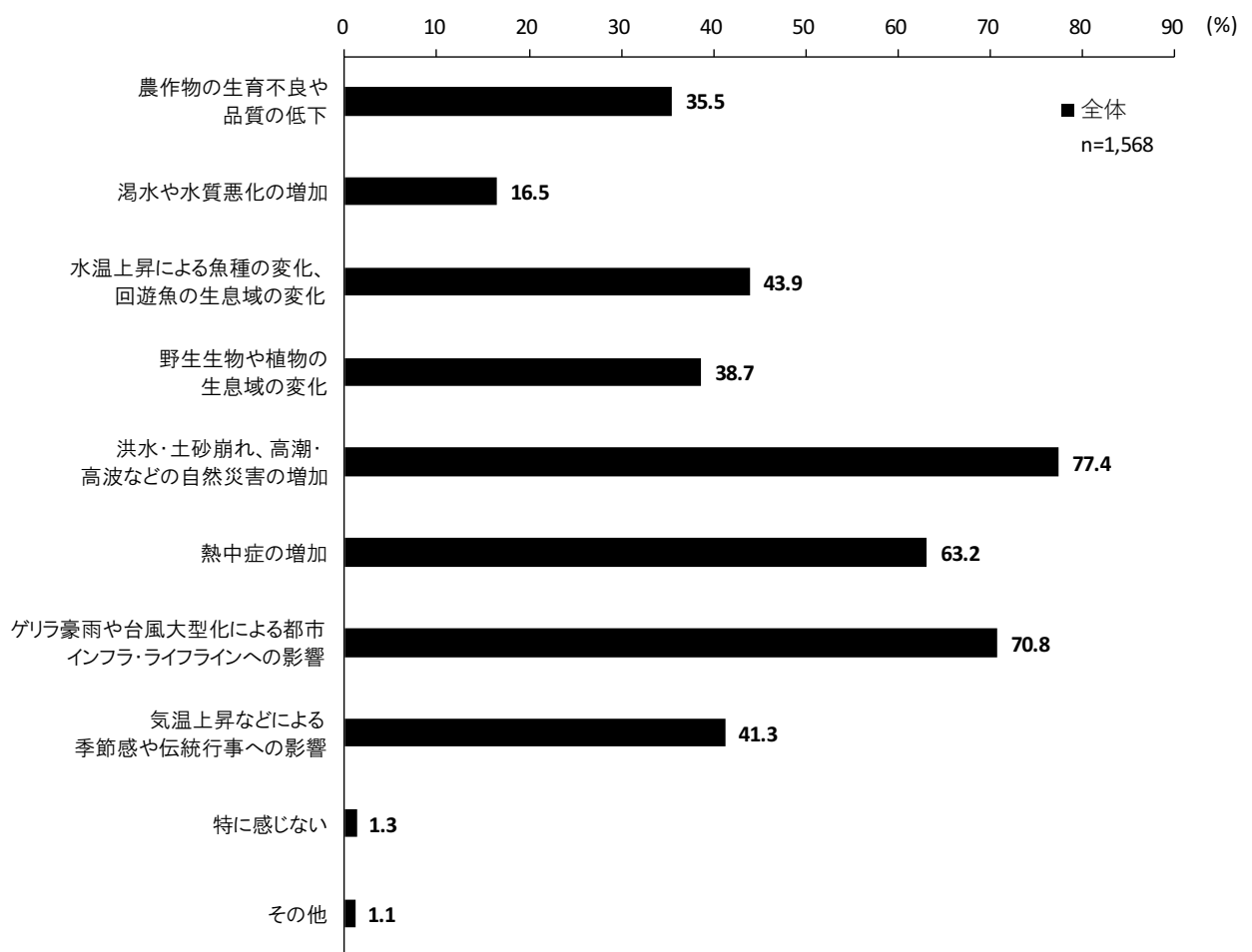
「非常に深刻である」と「ある程度深刻である」を合わせると93.4%となり、9割以上の人が地球温暖化（気候変動の影響）は深刻な問題と認識していることが分かった。



問4. あなたは、身の回りでどのような気候変動による影響を感じますか。あてはまるものを全て選んでください。

「洪水・土砂崩れ、高潮・高波などの自然災害の増加」が77.4%と最も高く、「ゲリラ豪雨や台風大型化による都市インフラ・ライフラインへの影響」が70.8%、「熱中症の増加」が63.2%と続いた。

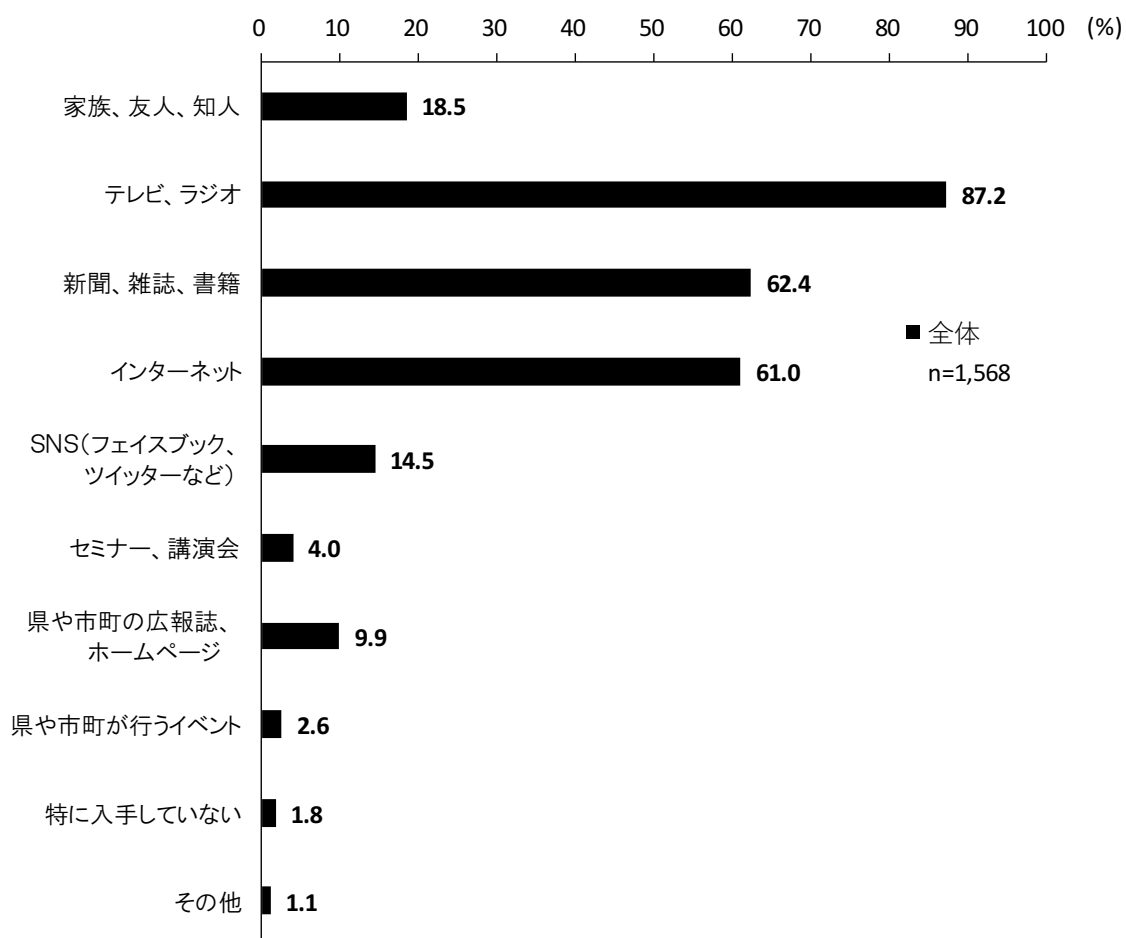
その他の回答では「雪の減少」「北極などの氷が溶けてきている」などがあった。



問5. あなたは、地球温暖化（気候変動の影響）に関する知識や情報をどこから入手していますか。あてはまるものを全て選んでください。

「テレビ、ラジオ」が87.2%と最も高く、「新聞、雑誌、書籍」が62.4%、「インターネット」が61.0%と続いた。

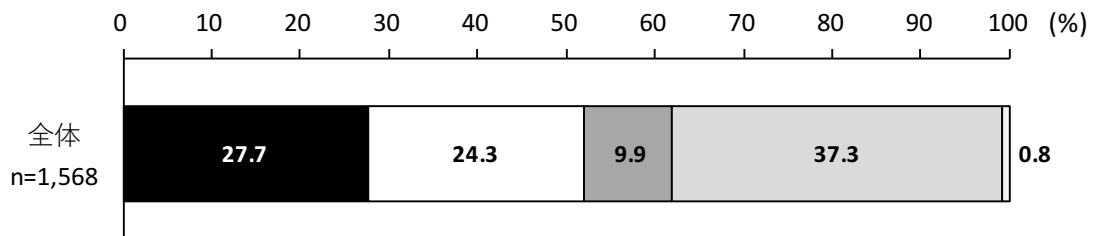
その他の回答では「学校の授業」「生協の取り組みや学習会」などがあつた。



問6. あなたは、政府が「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする目標」を法律に位置付け、通過点として「2030年度に（2013年度と比べて）46%削減するという目標」を掲げたことについてご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

「いずれも知らない」が37.3%と最も高く、「2050年の実質ゼロ目標、2030年度の46%削減目標、いずれも知っている」が27.7%と続いた。

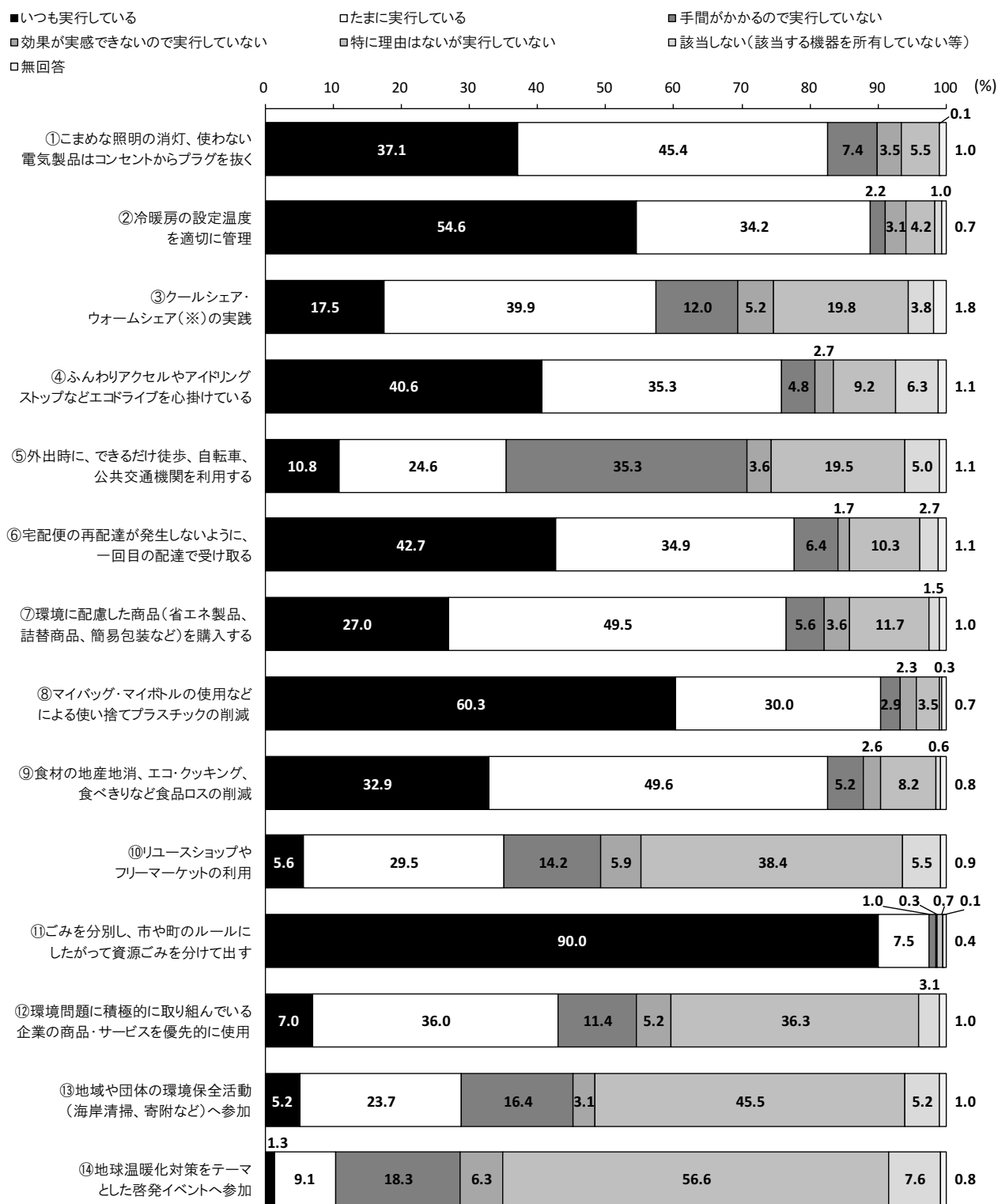
- 2050年の実質ゼロ目標、2030年度の46%削減目標、いずれも知っている
- 2050年の実質ゼロ目標は知っているが、2030年度の46%削減目標は知らない
- 2050年の実質ゼロ目標は知らないが、2030年度の46%削減目標は知っている
- いずれも知らない
- 無回答



2-2 地球温暖化防止に向けた取組について

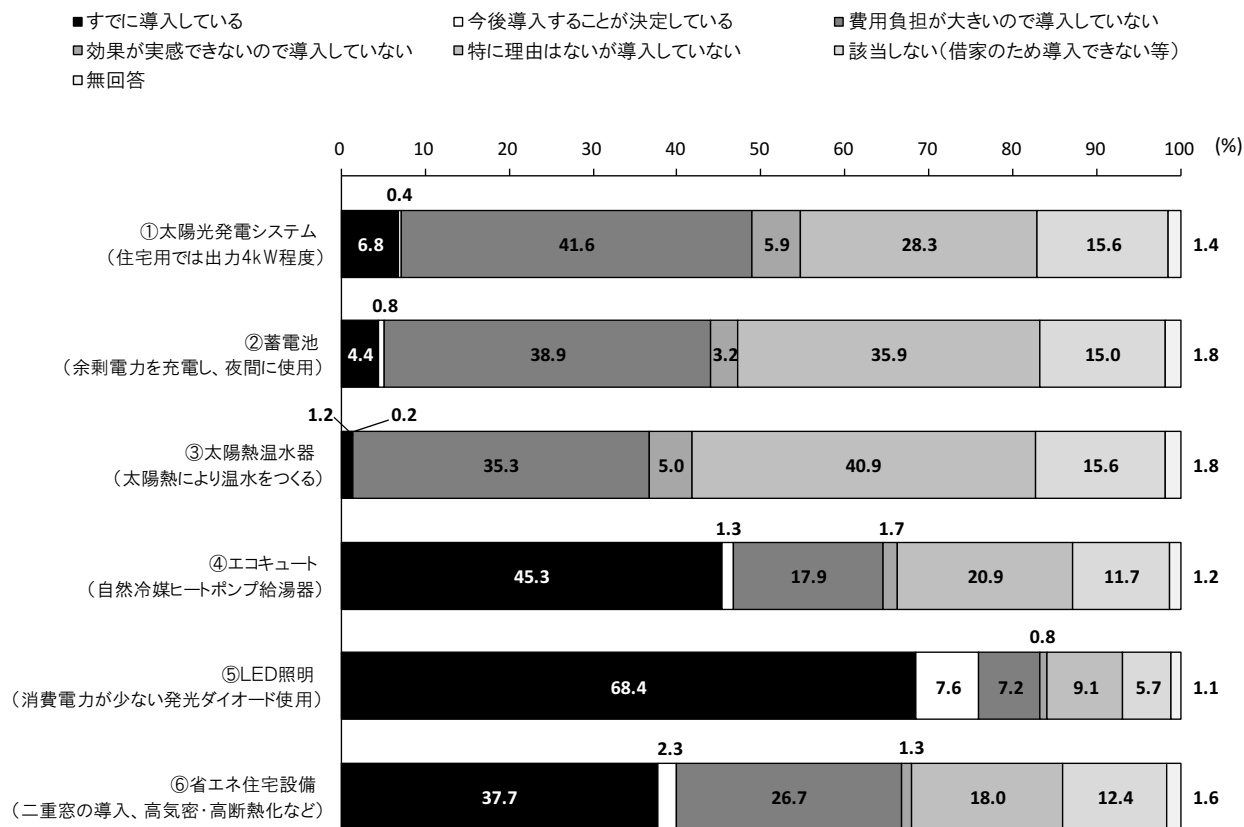
問7. あなたはこれまでに地球温暖化対策（省エネ対策）について、どのようなことに取り組んできましたか。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

「いつも実行している」と「たまに実行している」の合計が最も高いのは「ごみを分別し、市や町のルールにしたがって資源ごみを分けて出す」(97.5%)で、「マイバッグ・マイボトルの使用などによる使い捨てプラスチックの削減」(90.3%)が続いた。



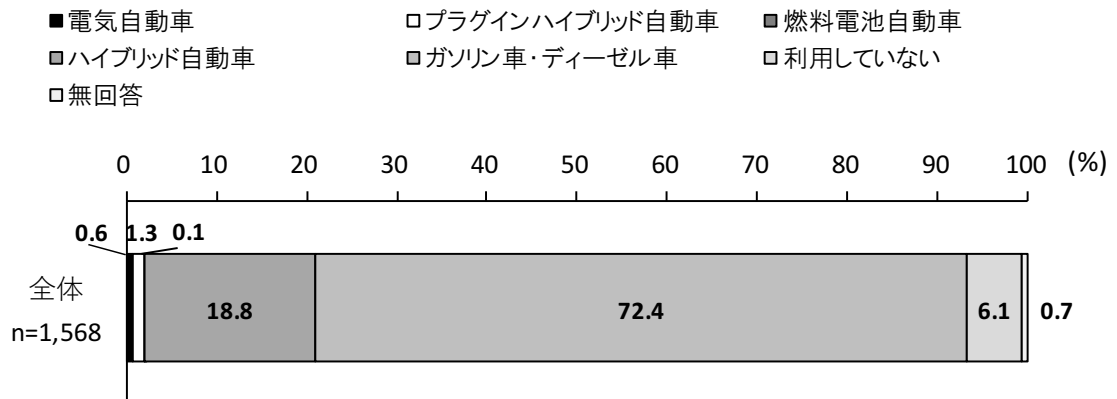
問8. あなたの現在のお住まいは、次の設備を導入していますか。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

「すでに導入している」と「今後導入することが決定している」の合計が最も高いのは「LED照明」(76.0%)で、「エコキュート」(46.6%)が続いた。



問9. あなたが現在、主に利用している自家用車の車種は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

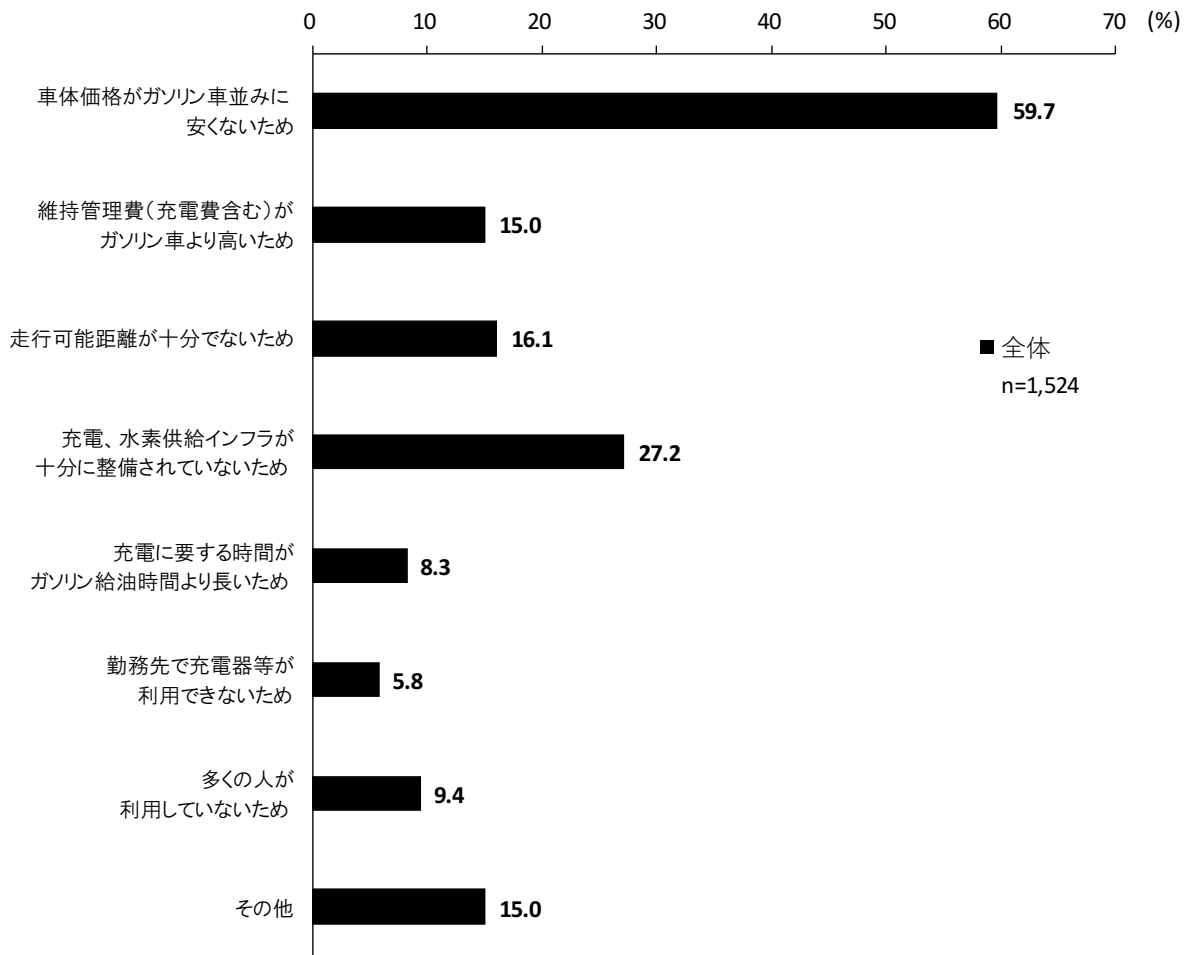
「ガソリン車・ディーゼル車」が72.4%と最も高く、「ハイブリッド自動車」が18.8%と続いた。



問10. 問9で、(4) (5) (6)を選択された方にお聞きします。あなたが「電気自動車」「プラグインハイブリッド自動車」「燃料電池自動車」を購入していない理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んでください。

「車体価格がガソリン車並みに安くないため」が59.7%と最も高く、「充電、水素供給インフラが十分に整備されていないため」が27.2%、「走行可能距離が十分でないため」が16.1%と続いた。

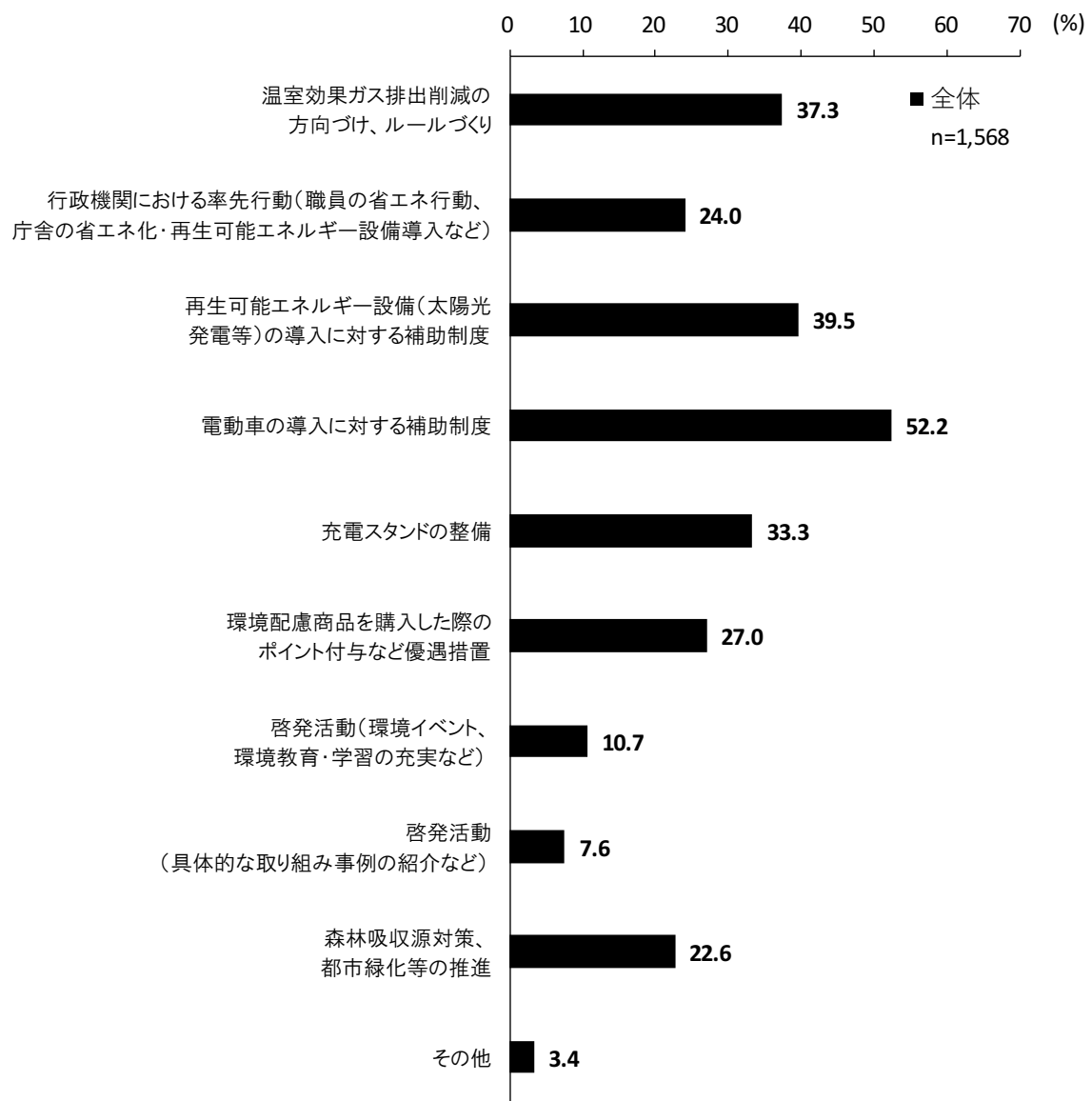
その他の回答では「好みのデザインや性能の車がないため」「車の買い替え時期ではないため」「免許返納で車を所有していない」などがあつた。



問 11. 地球温暖化対策（省エネ対策など）として、行政（国、県や市町）にどのような取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「電動車の導入に対する補助制度」が 52.2%と最も高く、「再生可能エネルギー設備（太陽光発電等）の導入に対する補助制度」が 39.5%、「温室効果ガス排出削減の方向づけ、ルールづくり」が 37.3%と続いた。

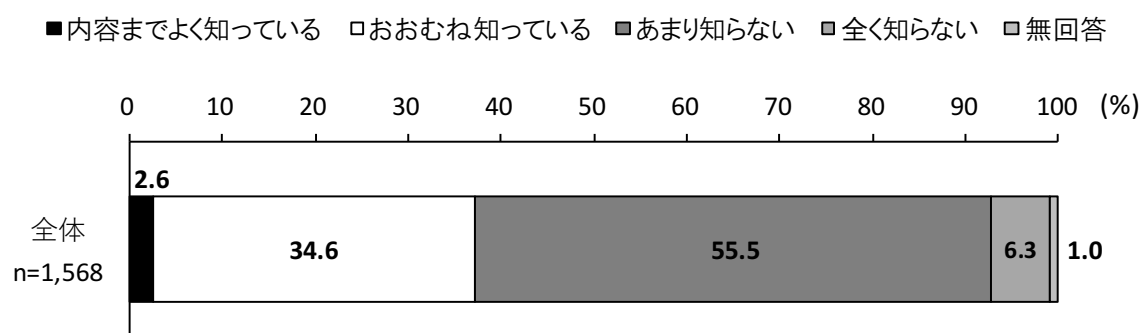
その他の回答では「太陽光発電などの義務化」「温室効果ガス回収技術の開発」などがあった。



2-3 気候変動による影響について

問 12. あなたは、気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）について、どのくらい知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

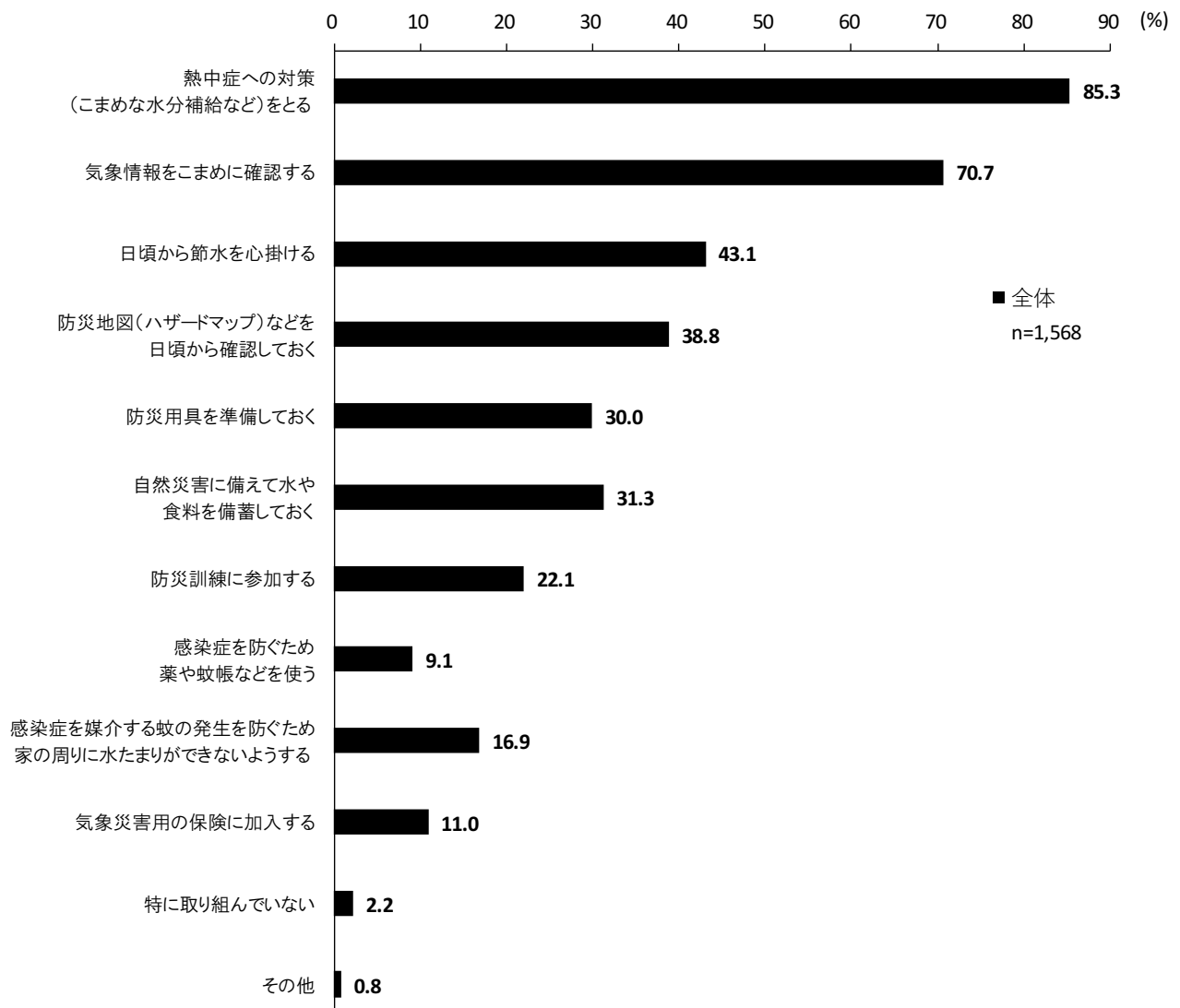
「内容までよく知っている」と「おおむね知っている」の合計は 37.2%となり、「あまり知らない」と「全く知らない」の合計 61.8%を下回る結果となった。



問 13. あなたが、気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）として、日頃から実践していることはありますか。あてはまるものを全て選んでください。

「熱中症への対策（こまめな水分補給など）をとる」が 85.3%と最も高く、「気象情報をこまめに確認する」が 70.7%、「日頃から節水を心掛ける」が 43.1%と続いた。

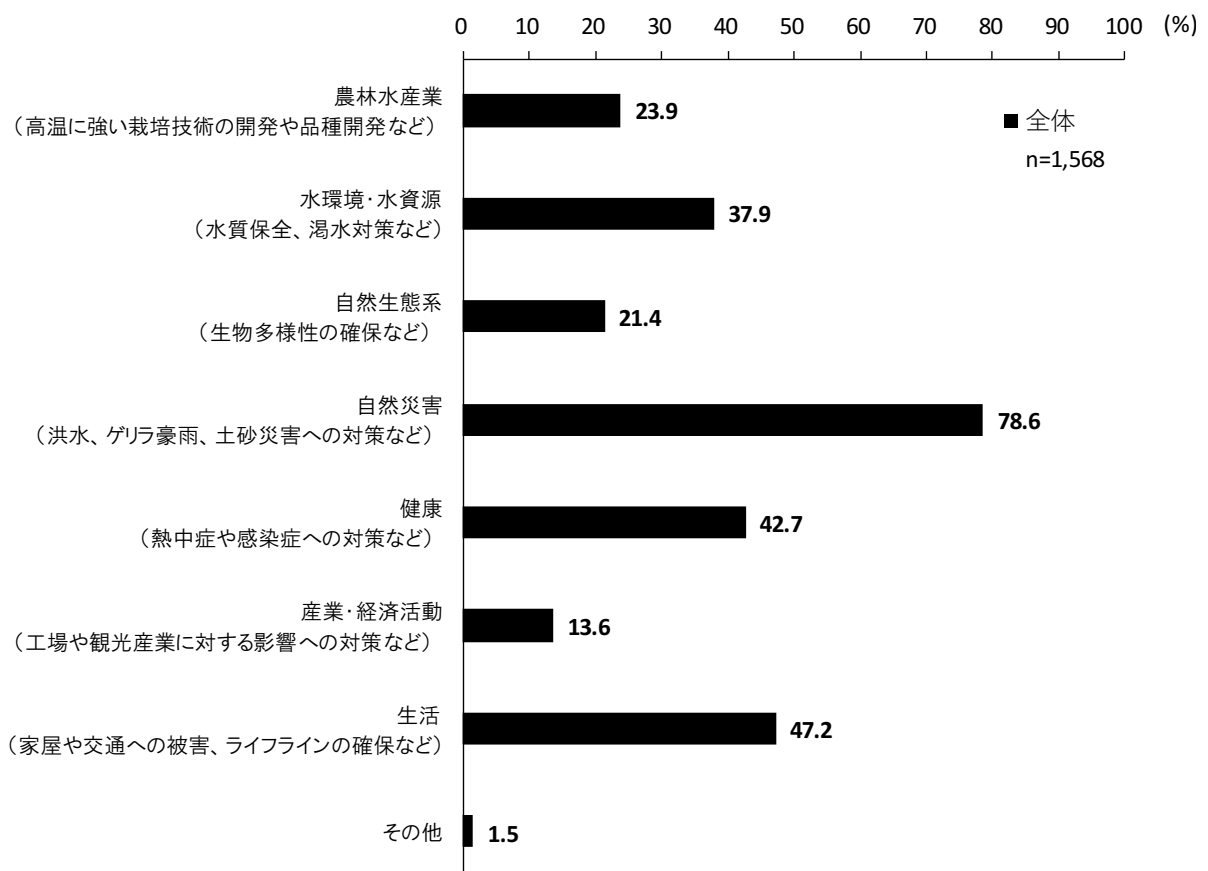
その他の回答では「引っ越し、建て替えなどの検討」「災害保険に加入して自己管理」などがあつた。



問 14. あなたは、気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）として、行政（国、県や市町）にどのような分野への取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「自然災害（洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など）」が 78.6%と最も高く、「生活（家屋や交通への被害、ライフラインの確保など）」が 47.2%、「健康（熱中症や感染症への対策など）」が 42.7%と続いた。

その他の回答では「交通量を減らす工夫」「持続可能性のある林業スキームの構築」などがあつた。



3. 事業者意識調査の概要

3-1 調査目的

近年、地球温暖化による私たちの生活への影響が現れ始め、その対策が喫緊の課題となっていることから、石川県としても様々な取り組みを行っている。

県内事業者の地球温暖化対策に関する対する意識や行動を把握するとともに、石川県環境総合計画改定の基礎資料とするために実施した。

3-2 特徴的な集計結果

調査の結果、「地球温暖化に対する非常に関心が高く、深刻な問題」と考える事業者の姿が見えてきた。

■ 「従業員の健康管理」を第一に

気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）の実施状況では「従業員の健康管理」が68.0%と最も高く、次いで「空調設備の整備」が49.8%と続いた。従業員をまずは第一に考える事業者が多いことがわかった。

■ 「情報提供」「行政による効果的な対策」を望む

気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）として期待することでは「行政（国、県や市町）の適応策に関する取り組みや支援制度に関する情報提供」が62.2%と最も高く、次いで「行政（国、県や市町）による効果的な適応策（農作物の品種改良、土砂崩れや洪水の予防措置）の推進」が44.0%と続いた。

3-3 調査項目

調査項目は、以下とした。

- ① 地球温暖化問題への関心や意識について
- ② 地球温暖化防止に向けた取組の状況について
- ③ 気候変動による影響について

3-4 調査方法

郵送配布、郵送回収方式とした。調査票を配布して約2週間後を返送（投函）の締め切りとした。また、Web上でも回答できるようにした。

3-5 調査対象と標本の抽出方法

調査対象事業者はふるさと環境条例に規定する温室効果ガス排出量の高い工場等及びいしかわ事業者版環境ISO登録事業所から300社、県が指定した台帳（石川県総合人事録（北國新聞社））に記載された事業所から200社の計500社を抽出した。

3-6 実施期間

調査票配布は令和3年7月30日（金）、締め切りを令和3年8月16日（月）とした。

3-7 回答者数と回収率

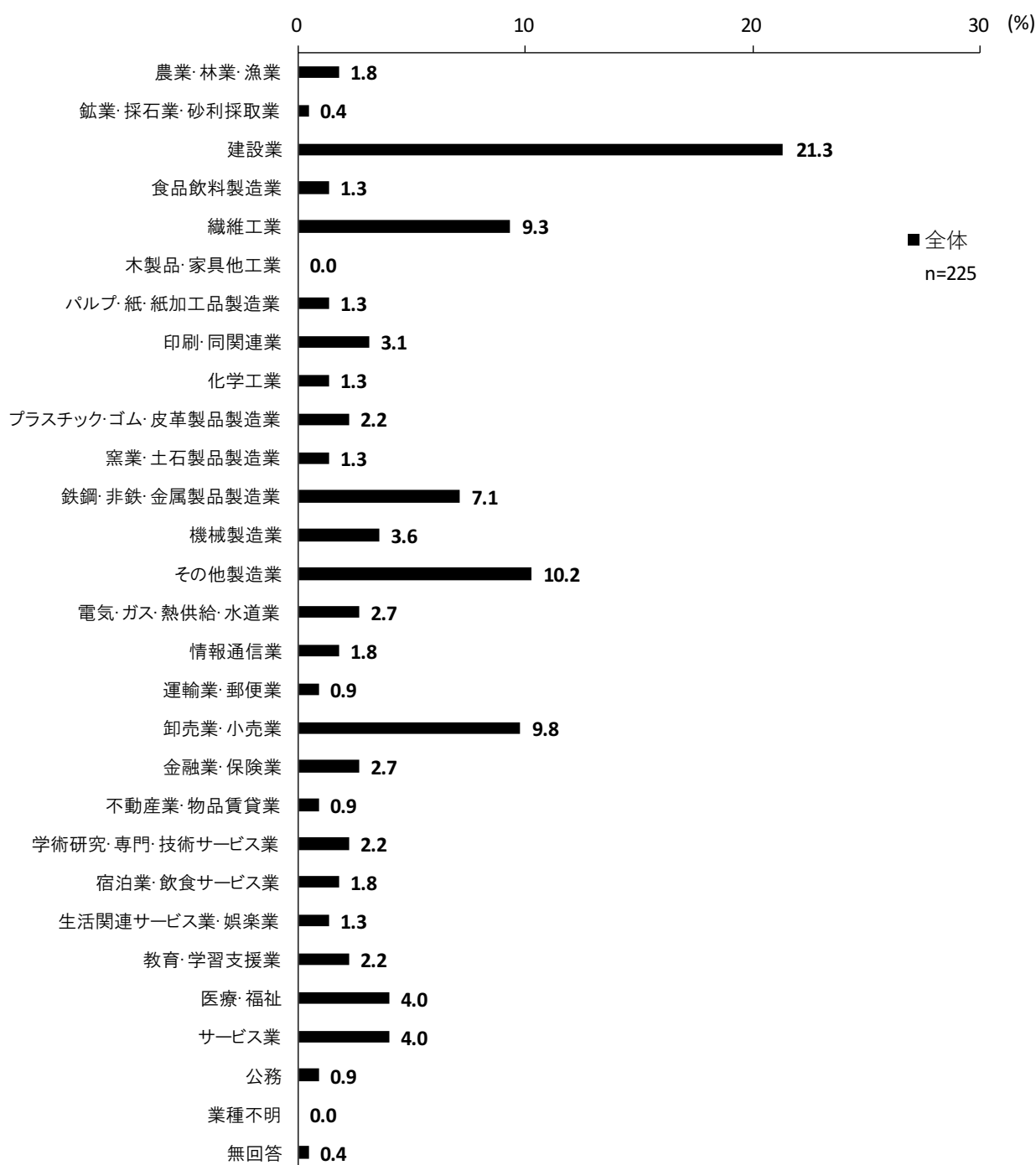
事業者調査の有効回答数は225社、回収率は45.0%となった。

3-8 回答者の内訳

回答者の内訳は以下のとおりであった。

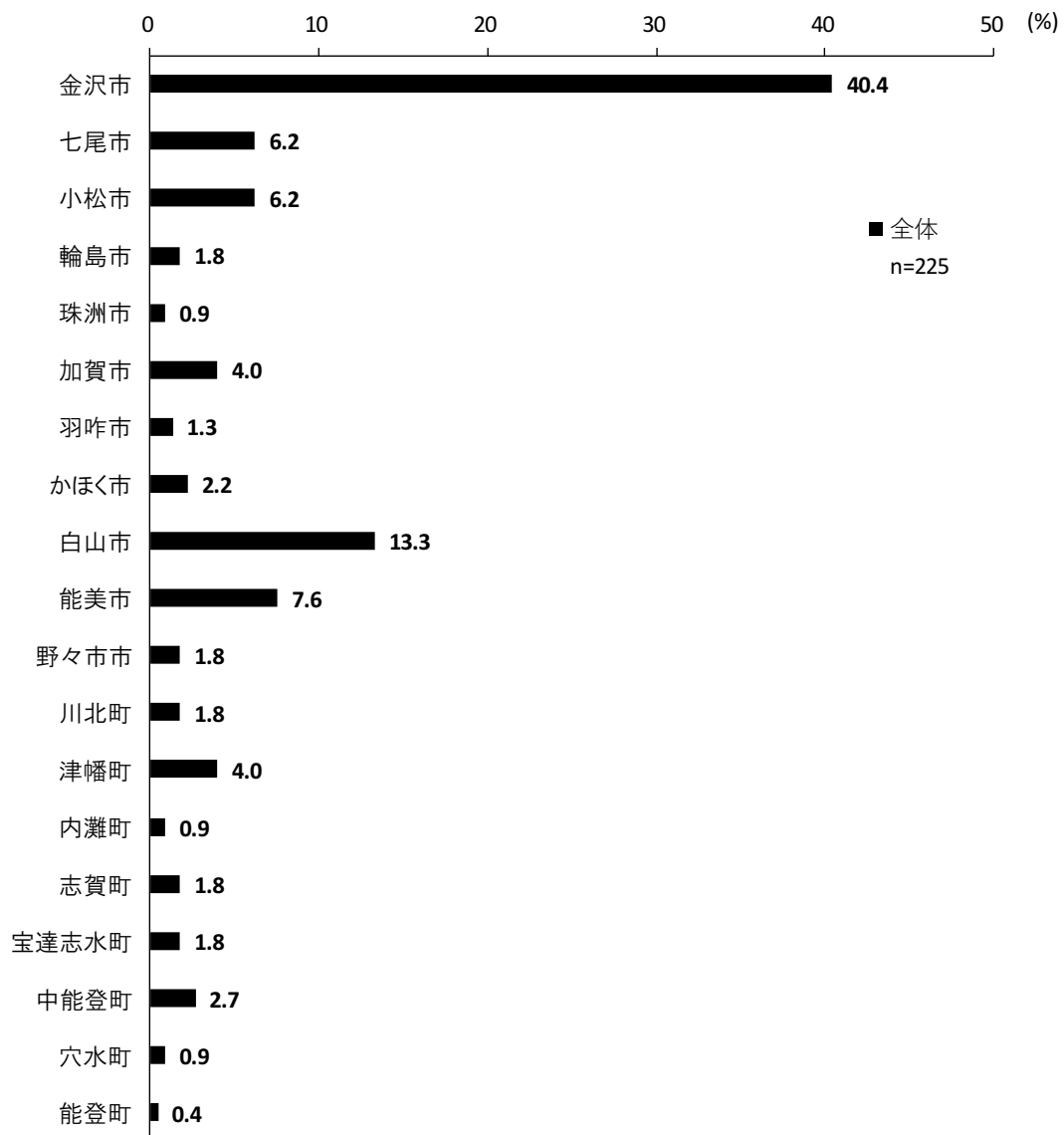
①主な業種

「建設業」が21.3%で最も高く、「その他製造業」が10.2%と続いている。



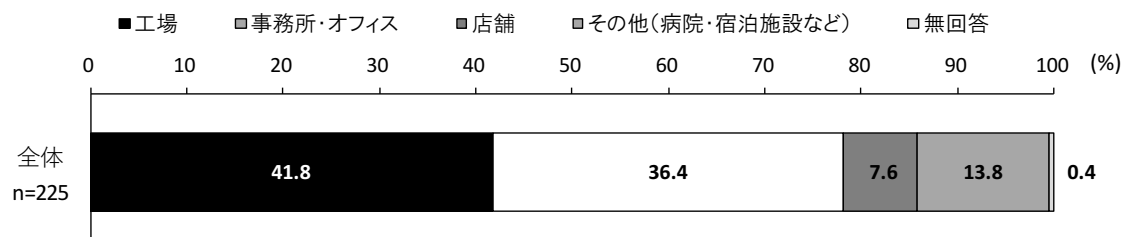
②事業所の所在地

「金沢市」が40.4%と最も高く、「白山市」が13.3%と続いている。



③事業形態

「工場」が41.8%で最も高く、「事務所・オフィス」が36.4%と続いている。



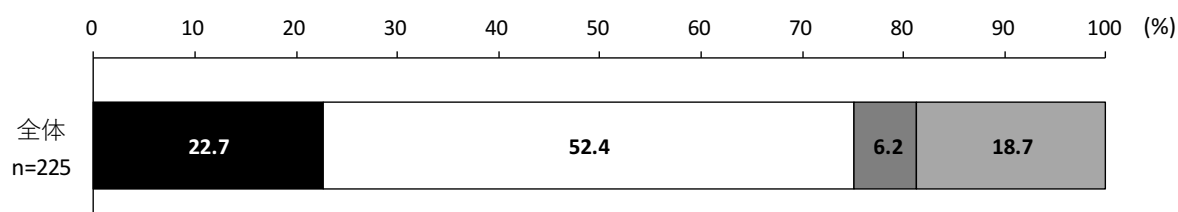
4. 事業者意識調査結果

4-1 地球温暖化問題への関心や意識について

問1. 貴事業所では、地球温暖化対策（省エネ対策など）について、どのように考えていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

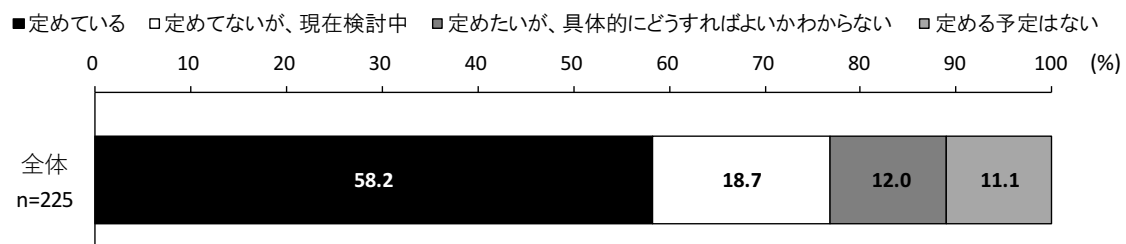
「法令や取引先から求められないことでも、社会的責任の観点から、自発的に実施する」が52.4%で最も高く、次いで「法令や取引先からの要請、社会的責任にとどまらず、新たなビジネスのきっかけづくりとして、積極的に実施する」の22.7%、「法令で求められる最低限のことのみ実施する」の18.7%と続いている。

- 法令や取引先からの要請、社会的責任にとどまらず、新たなビジネスのきっかけづくりとして、積極的に実施する
- 法令や取引先から求められないことでも、社会的責任の観点から、自発的に実施する
- 法令で求められないことで、取引先から求められることは実施する
- 法令で求められる最低限のことのみ実施する



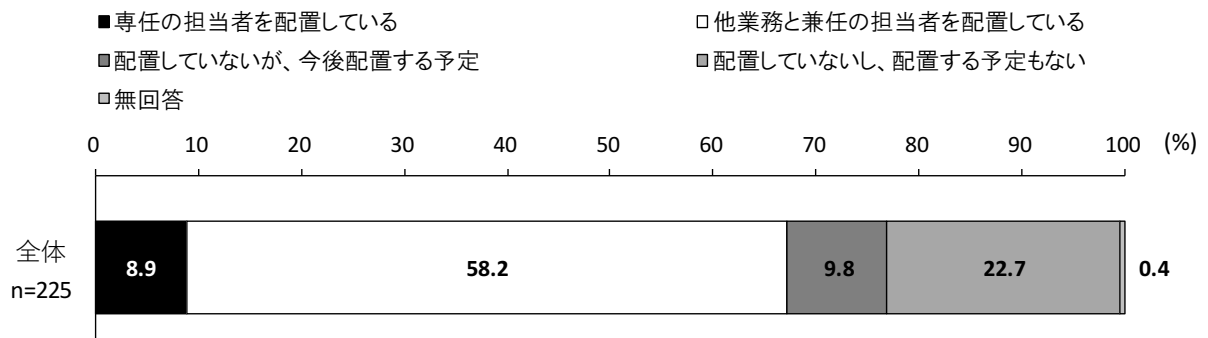
問2. 貴事業所では、地球温暖化対策（省エネ対策など）の社内方針や目標を定めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「定めている」が58.2%と最も高く、次いで「定めてないが、現在検討中」が18.7%と続いている。



問3. 貴事業所では、地球温暖化対策（省エネ対策など）に取り組む担当者を配置していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

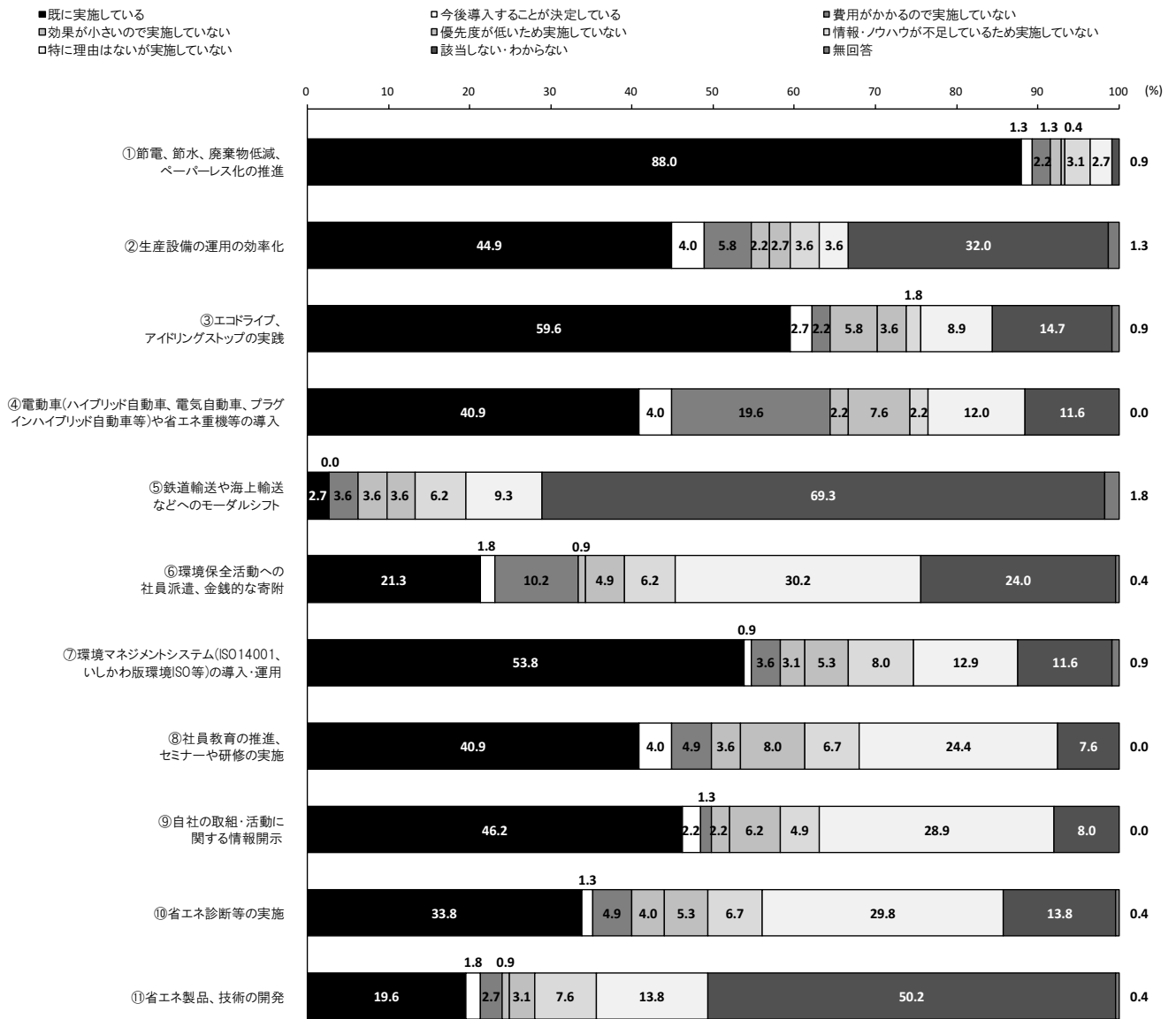
「他業務と兼任の担当者を配置している」が58.2%と最も高く、次いで「配置していないし、配置する予定もない」が22.7%と続いている。



4-2 地球温暖化防止に向けた取組の状況について

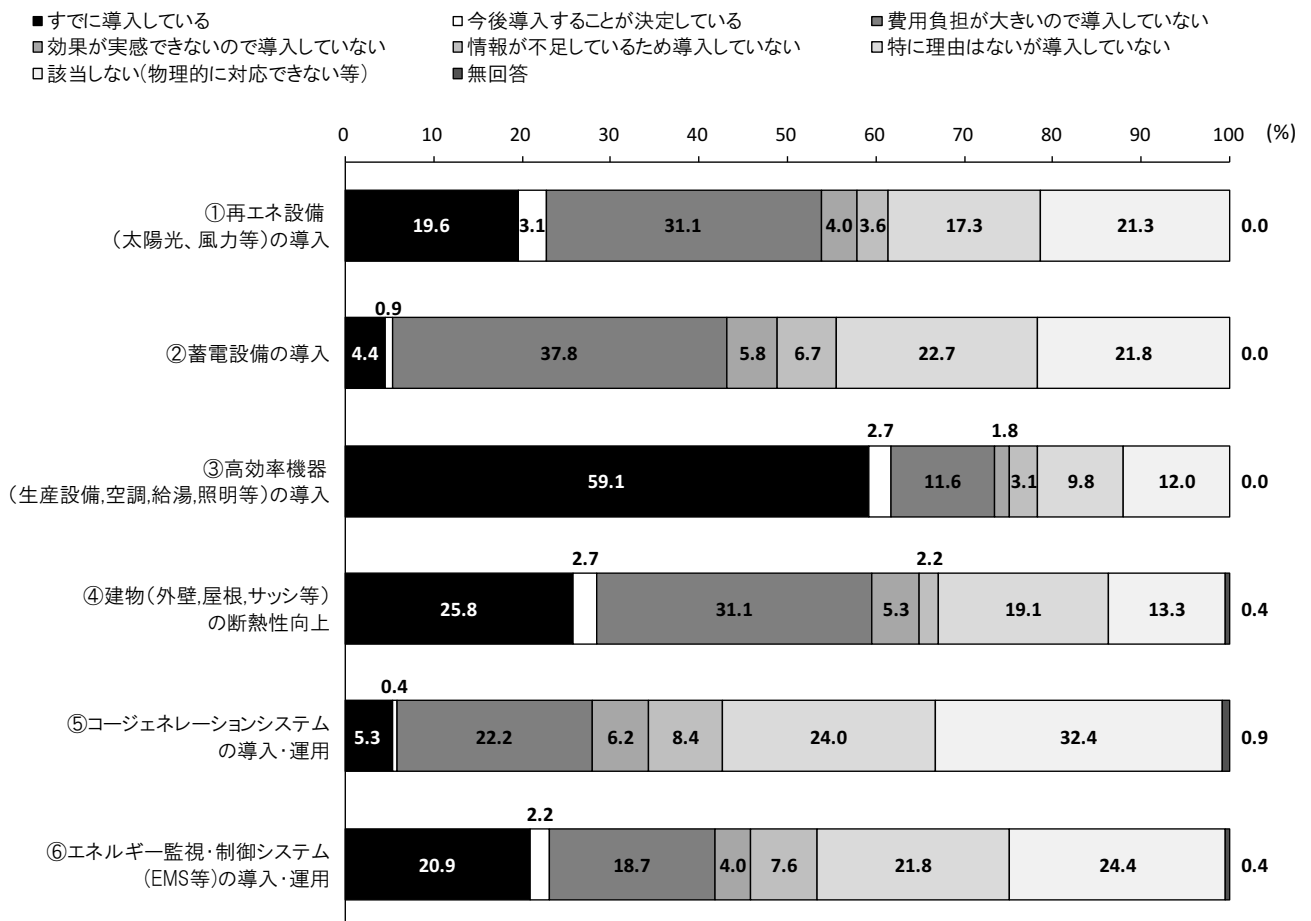
問4. 貴事業所で実践している地球温暖化対策（省エネ対策など）のための取り組みについておたずねします。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

「既の実施している」と「今後導入することが決定している」の合計が最も高いのは「節電、節水、廃棄物低減、ペーパーレス化の推進」(89.3%)で、「エコドライブ、アイドリングストップの実践」(62.3%)が続いた。



問5. 貴事業所では、次の設備等を導入していますか。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

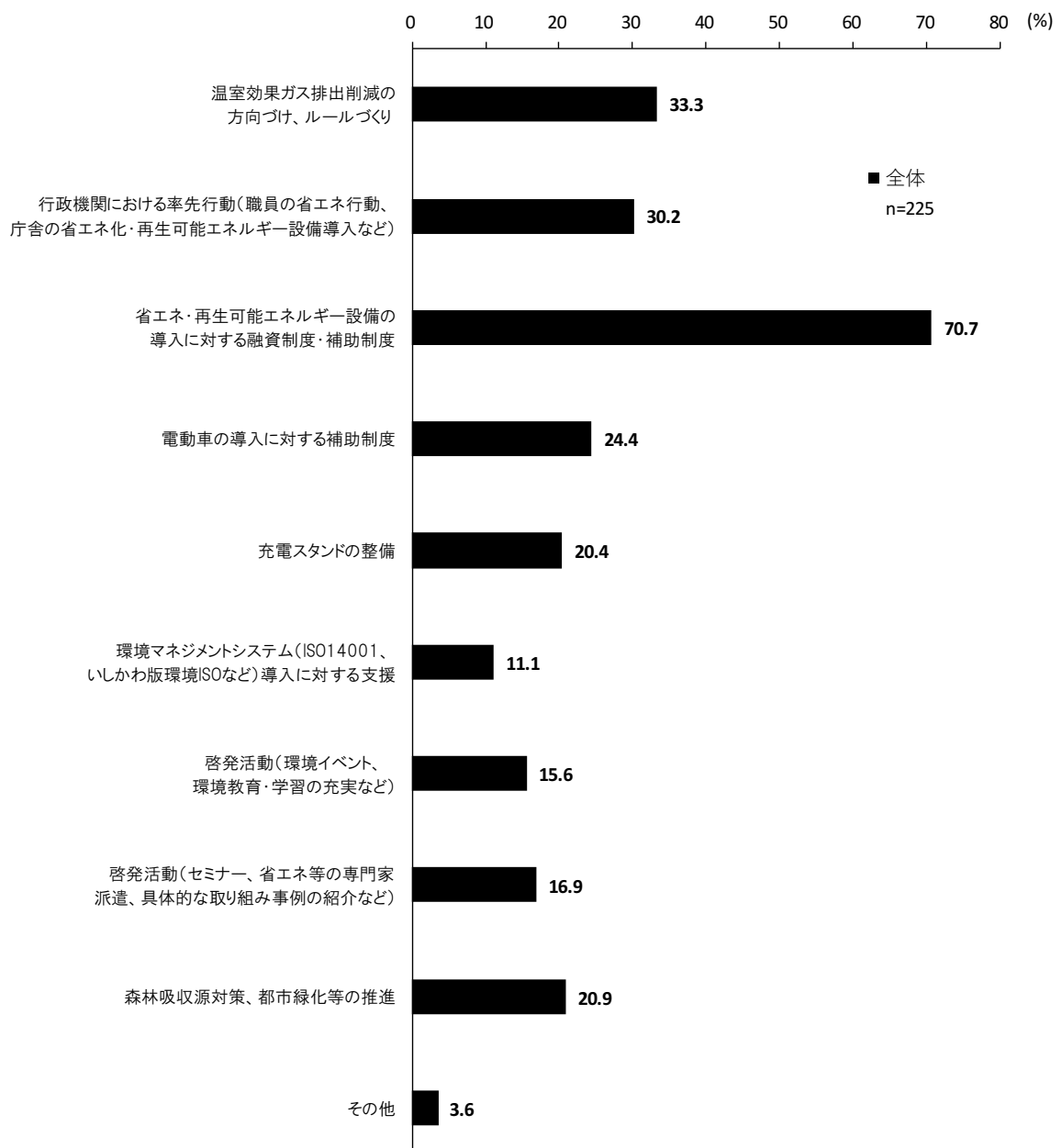
「既の実施している」と「今後導入することが決定している」の合計が最も高いのは「高効率機器（生産設備,空調,給湯,照明等）の導入」（61.8%）で、「建物（外壁,屋根,サッシ等）の断熱性向上」（28.5%）が続いた。



問6. 地球温暖化対策（省エネ対策など）として、行政（国、県や市町）にどのような取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「省エネ・再生可能エネルギー設備の導入に対する融資制度・補助制度」が70.7%と最も高く、次いで「温室効果ガス排出削減の方向づけ、ルールづくり」が33.3%と続いている。

その他の回答では「グリーン水素、アンモニアへの集中投資」「補助金事業の要件の緩和」などがあつた。

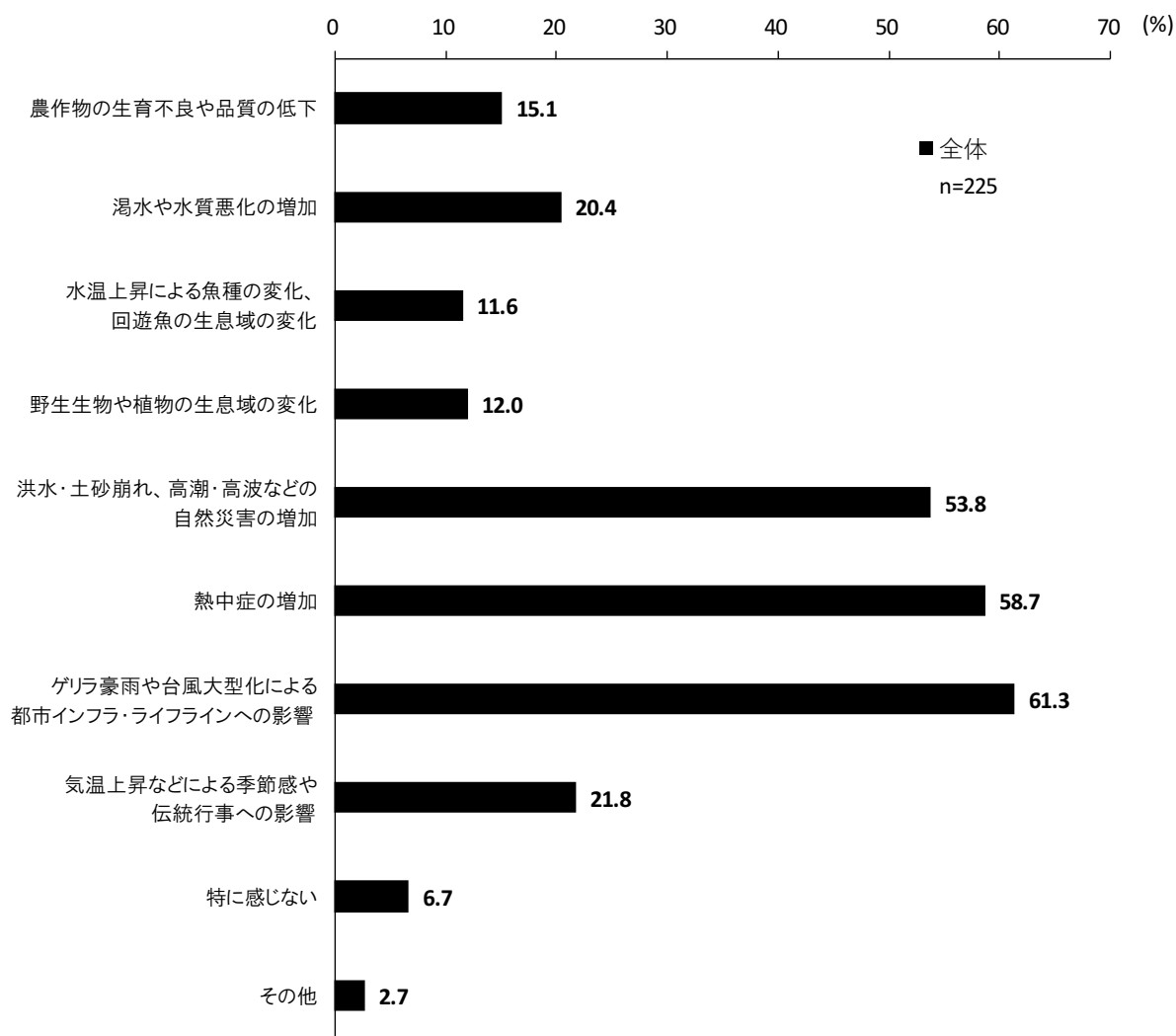


4-3 気候変動による影響について

問7. 事業活動等において懸念される気候変動の影響はありますか。あてはまるものを全て選んでください。

「ゲリラ豪雨や台風大型化による都市インフラ・ライフラインへの影響」が61.3%と最も高く、次いで「熱中症の増加」が58.7%、洪水・土砂崩れ、高潮・高波などの自然災害の増加」が53.8%と続いている。

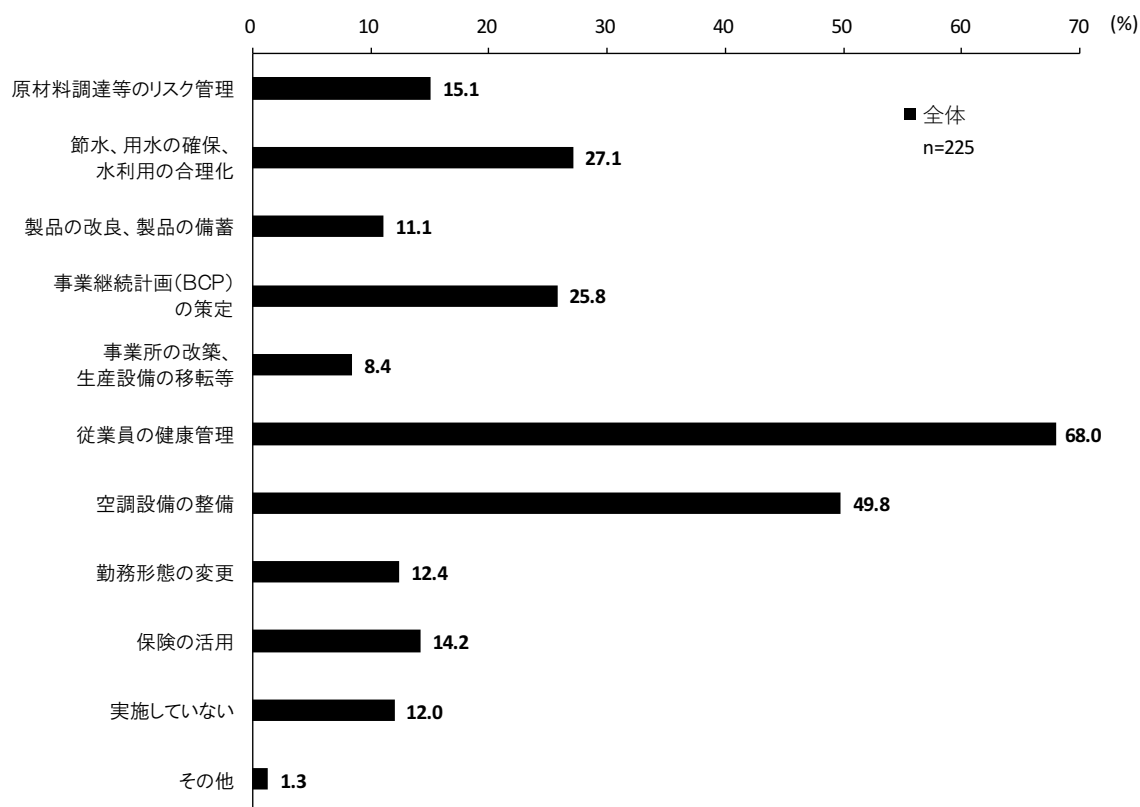
その他の回答では「雪不足による地下水脈の枯渇」「光熱費の上昇」などがあつた。



問8. 気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）の実施状況についておたずねします。あてはまるものを全て選んでください。

「従業員の健康管理」が68.0%と最も高く、次いで「空調設備の整備」が49.8%と続いている。

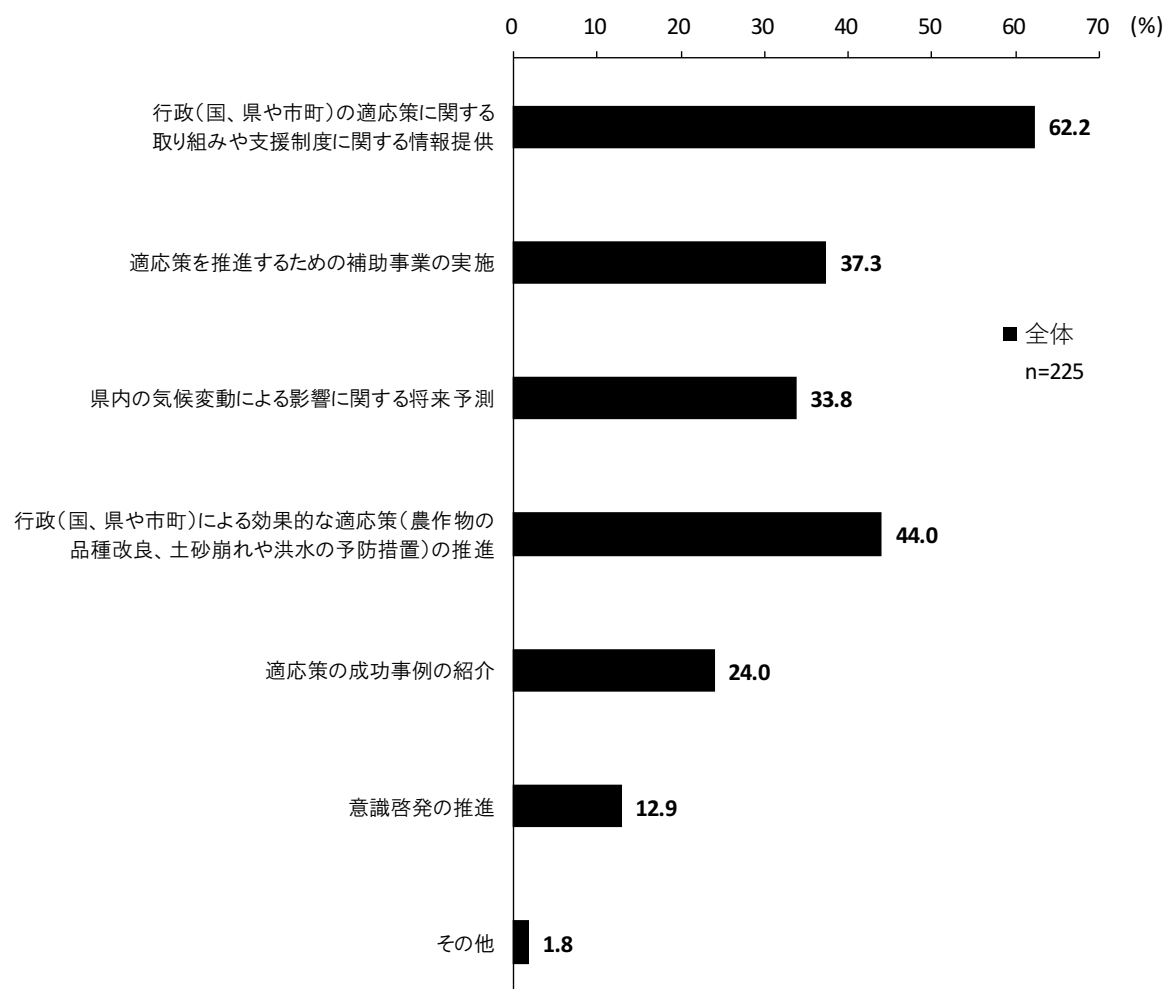
その他の回答では「熱中症対策の注意喚起」「生産設備更新における省エネ機器の導入推進」「高圧発電機車増配備等の設備対策の実施」「同業他社・関係機関との連携強化（応援派遣や共同訓練）」などがあった。



問9. 気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）として、行政（国、県や市町）にどのような取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

「行政（国、県や市町）の適応策に関する取り組みや支援制度に関する情報提供」が62.2%と最も高く、次いで「行政（国、県や市町）による効果的な適応策（農作物の品種改良、土砂崩れや洪水の予防措置）の推進」が44.0%と続いている。

その他の回答では「水害（氾濫等）への事前対処（河川整備、川底掘削等）」「企業との連携（維持・強化）」などがあった。



5. その他

5-1 県民意識調査票

地球温暖化対策に関する県民意識調査

日頃から県政の推進にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて、近年、地球温暖化による私たちの生活への影響が現れ始め、その対策が喫緊の課題となっていることから、石川県としても様々な取り組みを行っています。

この調査は、県民の皆様の地球温暖化対策に関する意識を調査し、その結果を今後の施策に反映させるために実施するものです。

調査対象の選定にあたりまして、石川県内にお住まいの 20 歳以上の方々の中から、2,000 名を無作為に選ばせていただきました。

ご回答いただいた結果は、「このようなご意見の方は全体の何パーセント」という形で、全て統計的に処理を行います。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されたりすることはありませんので、安心してお答えください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご回答にあたってのお願い

- 必ずご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。
- ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号に○印をつけてください。
質問によって、あてはまるものを「1つ」「3つまで」「全て」等と指定がありますので、その指示に従ってください。
- ご回答は、次のいずれか1つの方法でお願いします。
 - (1) 本調査票へのご記入による回答
 - ・ 回答を本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**8月16日（月）までに**、ご投函をお願いします。
 - (2) Web 回答フォームによる回答
 - ・ **8月16日（月）までに**、以下にアクセスいただき、Web 上で入力をお願いします。

<https://forms.gle/EsCCUPQZ8kuhDufp8>



<調査に関するお問い合わせ先>

石川県 生活環境部 温暖化・里山対策室（金沢市鞍月1丁目1番地）

電 話：076-225-1462

地球温暖化対策に関する県民意識調査 調査票

はじめに、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えのない範囲でお聞かせください。

・あなたの性別に該当する番号に○をつけてください。

- (1) 男性 (2) 女性 (3) どちらともいえない又は答えたくない

・あなたの年齢に該当する番号に○をつけてください。

- (1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代 (5) 60代以上

・あなたの現在の世帯構成（回答者ご本人を含めて）について、該当する番号に○をつけてください。

- (1) 1名 (2) 2名 (3) 3名 (4) 4名 (5) 5名以上

・あなたの現在のお住まいの形態について、該当する番号に○をつけてください。

- (1) 戸建住宅 (2) 集合住宅（マンション・アパート等）
(3) その他（ ）

・あなたの現在のお住まいの所在地について、該当する番号に○をつけてください。

- (1) 金沢市 (2) 七尾市 (3) 小松市 (4) 輪島市
(5) 珠洲市 (6) 加賀市 (7) 羽咋市 (8) かほく市
(9) 白山市 (10) 能美市 (11) 野々市市 (12) 川北町
(13) 津幡町 (14) 内灘町 (15) 志賀町 (16) 宝達志水町
(17) 中能登町 (18) 穴水町 (19) 能登町

問4. あなたは、身の回りでどのような気候変動による影響を感じますか。あてはまるものを全て選んでください。

- (1) 農作物の生育不良や品質の低下
- (2) 渇水や水質悪化の増加
- (3) 水温上昇による魚種の変化、回遊魚の生息域の変化
- (4) 野生生物や植物の生息域の変化
- (5) 洪水・土砂崩れ、高潮・高波などの自然災害の増加
- (6) 熱中症の増加
- (7) ゲリラ豪雨や台風大型化による都市インフラ・ライフラインへの影響
- (8) 気温上昇などによる季節感や伝統行事への影響
- (9) 特に感じない
- (10) その他 ()

問5. あなたは、地球温暖化（気候変動の影響）に関する知識や情報をどこから入手していますか。あてはまるものを全て選んでください。

- (1) 家族、友人、知人
- (2) テレビ、ラジオ
- (3) 新聞、雑誌、書籍
- (4) インターネット
- (5) SNS（フェイスブック、ツイッターなど）
- (6) セミナー、講演会
- (7) 県や市町の広報誌、ホームページ
- (8) 県や市町が行うイベント
- (9) 特に入手していない
- (10) その他 ()

問6. あなたは、政府が「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする目標」を法律に位置付け、通過点として「2030年度に（2013年度と比べて）46%削減するという目標」を掲げたことについてご存知ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- (1) 2050年の実質ゼロ目標、2030年度の46%削減目標、いずれも知っている
- (2) 2050年の実質ゼロ目標は知っているが、2030年度の46%削減目標は知らない
- (3) 2050年の実質ゼロ目標は知らないが、2030年度の46%削減目標は知っている
- (4) いずれも知らない

■地球温暖化防止に向けた取組について

問7. あなたはこれまでに地球温暖化対策（省エネ対策）について、どのようなことに取り組んできましたか。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

取組内容	いつも 実行して いる	たまに 実行して いる	手間が かかるの で 実行して いない	効果が 実感でき ないので 実行して いない	特に理 由はない が 実行して いない	該当し ない（該 当する機 器を所有 していない 等）
①こまめな照明の消灯、使わない電気製品はコンセントからプラグを抜く	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
②冷暖房の設定温度を適切に管理	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
③クールシェア・ウォームシェア※の実践	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
④ふんわりアクセルやアイドリングストップなどエコドライブを心掛けている	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑤外出時に、できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑥宅配便の再配達が発生しないように、一回目の配達で受け取る	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑦環境に配慮した商品（省エネ製品、詰替商品、簡易包装など）を購入する	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑧マイバッグ・マイボトルの使用などによる使い捨てプラスチックの削減	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑨食材の地産地消、エコ・クッキング、食べきりなど食品ロスの削減	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑩リユースショップやフリーマーケットの利用	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑪ごみを分別し、市や町のルールにしたがって資源ごみを分けて出す	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑫環境問題に積極的に取り組んでいる企業の商品・サービスを優先的に使用	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑬地域や団体の環境保全活動（海岸清掃、寄附など）へ参加	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑭地球温暖化対策をテーマとした啓発イベントへ参加	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

※クールシェア・ウォームシェアとは、家庭における消費電力を抑制することを目的に、電力需要が高まる夏と冬に、家庭のエアコンなどを消して、公共施設や商業施設などに出かけることや、家庭内で一つの部屋に集まること

問 8. あなたの現在のお住まいは、次の設備を導入していますか。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

設 備	すでに導入している	今後導入することが決定している	費用負担が大きいので導入していない	効果が実感できないので導入していない	特に理由はないが導入していない	該当しない(借家のため導入できない等)
①太陽光発電システム (住宅用では出力 4kW 程度)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
②蓄電池 (余剰電力を充電し、夜間に使用)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
③太陽熱温水器 (太陽熱により温水をつくる)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
④エコキュート (自然冷媒ヒートポンプ給湯器)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑤LED照明 (消費電力が少ない発光ダイオード使用)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
⑥省エネ住宅設備 (二重窓の導入、高気密・高断熱化など)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

問 9. あなたが現在、主に利用している自家用車の車種は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) 電気自動車 | (2) プラグインハイブリッド自動車 |
| (3) 燃料電池自動車 | (4) ハイブリッド自動車 |
| (5) ガソリン車・ディーゼル車 | (6) 利用していない |

問 10. 問 9 で、(4) (5) (6) を選択された方にお聞きます。あなたが「電気自動車」「プラグインハイブリッド自動車」「燃料電池自動車」を購入していない理由は何ですか。あてはまるものを2つまで選んでください。

- (1) 車体価格がガソリン車並みに安くないため
- (2) 維持管理費(充電費含む)がガソリン車より高いため
- (3) 走行可能距離が十分でないため
- (4) 充電、水素供給インフラが十分に整備されていないため
- (5) 充電に要する時間がガソリン給油時間より長いため
- (6) 勤務先で充電器等が利用できないため
- (7) 多くの人が利用していないため
- (8) その他 ()

問 11. 地球温暖化対策（省エネ対策など）として、行政（国、県や市町）にどのような取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- (1) 温室効果ガス排出削減の方向づけ、ルールづくり
- (2) 行政機関における率先行動（職員の省エネ行動、庁舎の省エネ化・再生可能エネルギー設備導入など）
- (3) 再生可能エネルギー設備（太陽光発電等）の導入に対する補助制度
- (4) 電動車の導入に対する補助制度
- (5) 充電スタンドの整備
- (6) 環境配慮商品を購入した際のポイント付与など優遇措置
- (7) 啓発活動（環境イベント、環境教育・学習の充実など）
- (8) 啓発活動（具体的な取り組み事例の紹介など）
- (9) 森林吸収源対策、都市緑化等の推進
- (10) その他（）

■ 気候変動による影響について

問 12. あなたは、気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）について、どのくらい知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- (1) 内容までよく知っている
- (2) おおむね知っている
- (3) あまり知らない
- (4) 全く知らない

問 13. あなたが、気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）として、日頃から実践していることはありますか。あてはまるものを全て選んでください。

- (1) 熱中症への対策（こまめな水分補給など）をとる
- (2) 気象情報をこまめに確認する
- (3) 日頃から節水を心掛ける
- (4) 防災地図（ハザードマップ）などを日頃から確認しておく
- (5) 防災用具を準備しておく
- (6) 自然災害に備えて水や食料を備蓄しておく
- (7) 防災訓練に参加する
- (8) 感染症を防ぐため薬や蚊帳などを使う
- (9) 感染症を媒介する蚊の発生を防ぐため家の周りに水たまりができないようする
- (10) 気象災害用の保険に加入する
- (11) 特に取り組んでいない
- (12) その他（）

5-2 事業者意識調査票

地球温暖化対策に関する事業者意識調査

日頃から県政の推進にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて、近年、地球温暖化による私たちの生活への影響が現れ始め、その対策が喫緊の課題となっていることから、石川県としても様々な取り組みを行っています。

この調査は、県民事業者の皆様を対象に、地球温暖化対策に関する意識を調査し、その結果を今後の施策に反映させるために実施するものです。

ご回答いただいた結果は、「このようなご意見は全体の何パーセント」という形で、全て統計的に処理を行います。個々の事業者名や回答内容を公表することはありませんので、安心してお答えください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご回答にあたってのお願い

- ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号に○印をつけてください。
質問によって、あてはまるものを「1つ」「3つまで」「全て」と指定がありますので、その指示に従ってください。
- ご回答は、次のいずれか1つの方法でお願いします。
 - (1) 本調査票へのご記入による回答
 - ・回答を本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**8月16日（月）までに**、ご投函をお願いします。
 - (2) Web 回答フォームによる回答
 - ・**8月16日（月）までに**、以下にアクセスいただき、Web 上で入力をお願いします。

<https://forms.gle/yUi1DFqJ2vSkfax58>



<調査に関するお問い合わせ先>

石川県 生活環境部 温暖化・里山対策室（金沢市鞍月1丁目1番地）

電 話：076-225-1462

地球温暖化対策に関する事業者意識調査 調査票

はじめに、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、貴事業所についておたずねします。

・事業者名： (任意)

・資本金： 円

・従業員数： 名

・事業所の所在地について、あてはまるものを1つ選んでください。

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|------------|
| (1) 金沢市 | (2) 七尾市 | (3) 小松市 | (4) 輪島市 |
| (5) 珠洲市 | (6) 加賀市 | (7) 羽咋市 | (8) かほく市 |
| (9) 白山市 | (10) 能美市 | (11) 野々市市 | (12) 川北町 |
| (13) 津幡町 | (14) 内灘町 | (15) 志賀町 | (16) 宝達志水町 |
| (17) 中能登町 | (18) 穴水町 | (19) 能登町 | |

・主な業種について、あてはまるものを1つ選んでください。

(標準産業分類に基づく分類)

- | | | | |
|------------------------|--------------------|---------------|-----------|
| (1) 農業・林業・漁業 | (2) 鉱業・採石業・砂利採取業 | (3) 建設業 | |
| (4) 食品飲料製造業 | (5) 繊維工業 | (6) 木製品・家具他工業 | |
| (7) パルプ・紙・紙加工品製造業 | (8) 印刷・同関連業 | (9) 化学工業 | |
| (10) プラスチック・ゴム・皮革製品製造業 | (11) 窯業・土石製品製造業 | | |
| (12) 鉄鋼・非鉄・金属製品製造業 | (13) 機械製造業 | | |
| (14) その他製造業 | (15) 電気・ガス・熱供給・水道業 | | |
| (16) 情報通信業 | (17) 運輸業・郵便業 | (18) 卸売業・小売業 | |
| (19) 金融業・保険業 | (20) 不動産業・物品賃貸業 | | |
| (21) 学術研究・専門・技術サービス業 | (22) 宿泊業・飲食サービス業 | | |
| (23) 生活関連サービス業・娯楽業 | (24) 教育・学習支援業 | | |
| (25) 医療・福祉 | (26) サービス業 | (27) 公務 | (28) 業種不明 |

・事業形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

- | | | |
|---------------------|--------------|--------|
| (1) 工場 | (2) 事務所・オフィス | (3) 店舗 |
| (4) その他 (病院・宿泊施設など) | | |

■地球温暖化問題への関心や意識について

問1. 貴事業所では、地球温暖化対策（省エネ対策など）について、どのように考えていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- (1) 法令や取引先からの要請、社会的責任にとどまらず、新たなビジネスのきっかけづくりとして、積極的に実施する
- (2) 法令や取引先から求められないことでも、社会的責任の観点から、自発的に実施する
- (3) 法令で求められないことで、取引先から求められることは実施する
- (4) 法令で求められる最低限のことのみ実施する

問2. 貴事業所では、地球温暖化対策（省エネ対策など）の社内方針や目標を定めていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- (1) 定めている
- (2) 定めてないが、現在検討中
- (3) 定めたいが、具体的にどうすればよいかわからない
- (4) 定める予定はない

問3. 貴事業所では、地球温暖化対策（省エネ対策など）に取り組む担当者を配置していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- (1) 専任の担当者を配置している
- (2) 他業務と兼任の担当者を配置している
- (3) 配置していないが、今後配置する予定
- (4) 配置していないし、配置する予定もない

■地球温暖化防止に向けた取組の状況について

問4. 貴事業所で実践している地球温暖化対策（省エネ対策など）のための取り組みについておたずねします。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

取組内容	既に実施している	今後導入することが決定している	費用がかかるといえない	効果が小さいので実施していない	優先度が低いので実施していない	情報・ノウハウが不足しているため実施していない	特に理由はないが実施していない	該当しない・わからない
省エネ行動								
①節電、節水、廃棄物低減、ペーパーレス化の推進	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
②生産設備の運用の効率化	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
自動車の燃料削減								
③エコドライブ、アイドリングストップの実践	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
④電動車（ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等）や省エネ重機等の導入	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
⑤鉄道輸送や海上輸送などへのモーダルシフト	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
環境保全活動								
⑥環境保全活動への社員派遣、金銭的な寄附	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
その他								
⑦環境マネジメントシステム（ISO14001、いしかわ版環境ISO等）の導入・運用	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
⑧社員教育の推進、セミナーや研修の実施	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
⑨自社の取組・活動に関する情報開示	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
⑩省エネ診断等の実施	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
⑪省エネ製品、技術の開発	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)

問5. 貴事業所では、次の設備等を導入していますか。最もあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

設備等	既に導入している	今後導入することが決定している	費用負担が大きいのので導入していない	効果が小さいので導入していない	情報が不足しているため導入していない	特に理由はないが導入していない	該当しない (物理的に対応できない等)
①再エネ設備（太陽光、風力等）の導入	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
②蓄電設備の導入	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
③高効率機器（生産設備、空調、給湯、照明等）の導入	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
④建物（外壁、屋根、サッシ等）の断熱性向上	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
⑤コージェネレーションシステムの導入・運用	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
⑥エネルギー監視・制御システム（EMS等）の導入・運用	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

問6. 地球温暖化対策（省エネ対策など）として、行政（国、県や市町）にどのような取り組みを期待しますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- (1) 温室効果ガス排出削減の方向づけ、ルールづくり
- (2) 行政機関における率先行動（職員の省エネ行動、庁舎の省エネ化・再生可能エネルギー設備導入など）
- (3) 省エネ・再生可能エネルギー設備の導入に対する融資制度・補助制度
- (4) 電動車の導入に対する補助制度
- (5) 充電スタンドの整備
- (6) 環境マネジメントシステム（ISO14001、いしかわ版環境 ISO など）導入に対する支援
- (7) 啓発活動（環境イベント、環境教育・学習の充実など）
- (8) 啓発活動（セミナー、省エネ等の専門家派遣、具体的な取り組み事例の紹介など）
- (9) 森林吸収源対策、都市緑化等の推進
- (10) その他（)

■ 気候変動による影響について

問7. 事業活動等において懸念される気候変動の影響はありますか。あてはまるものを全て選んでください。

- (1) 農作物の生育不良や品質の低下
- (2) 渇水や水質悪化の増加
- (3) 水温上昇による魚種の変化、回遊魚の生息域の変化
- (4) 野生生物や植物の生息域の変化
- (5) 洪水・土砂崩れ、高潮・高波などの自然災害の増加
- (6) 熱中症の増加
- (7) ゲリラ豪雨や台風大型化による都市インフラ・ライフラインへの影響
- (8) 気温上昇などによる季節感や伝統行事への影響
- (9) 特に感じない
- (10) その他 ()

問8. 気候変動による被害や影響を回避・軽減するための対策（適応策）の実施状況についておたずねします。あてはまるものを全て選んでください。

- (1) 原材料調達等のリスク管理
- (2) 節水、用水の確保、水利用の合理化
- (3) 製品の改良、製品の備蓄
- (4) 事業継続計画（BCP）の策定
- (5) 事業所の改築、生産設備の移転等
- (6) 従業員の健康管理
- (7) 空調設備の整備
- (8) 勤務形態の変更
- (9) 保険の活用
- (10) 実施していない
- (11) その他 ()

省エネによる経費削減、持続可能な企業活動に向けて

手軽な環境マネジメントに 取り組んでみませんか？

いしかわ版環境ISOは、県内の企業や団体が、自主的かつ簡易に環境保全活動に取り組むための環境マネジメントシステム(登録制度)です。

オフィスでの取組みに

いしかわ事業者版環境ISO

まずは事業所の環境負荷量を把握しよう！
こまめな節電・節水、廃棄物の削減などにより、エコな事業活動を目指します。

▶ 主な対象： **オフィス、小規模店舗など** (環境負荷が比較的小さい事業所)



工場や施設での取組みに

いしかわ工場・施設版環境ISO

設備機器に関する取組みは省エネ効果抜群！
日々の取組みに加えて、設備の運用改善や更新など、より一層のエコを目指します。

▶ 主な対象： **製造業、宿泊施設、福祉施設、商業施設など** (環境負荷が比較的大きい事業所)



お問い合わせ先

石川県生活環境部
温暖化・里山対策室
TEL: 076-225-1462
FAX: 076-225-1479

申請先

公益社団法人
いしかわ環境パートナーシップ県民会議
〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 いしかわエコハウス内
TEL: 076-266-0881 FAX: 076-266-0882
mail: info@eco-partner.net <https://www.eco-partner.net/>

5-3 調査業務の委託を受けた者

住 所：石川県金沢市南町2番1号
氏 名：一般財団法人北國総合研究所
代表者：理事長 吉田 仁

発行 石川県 生活環境部 温暖化・里山対策室

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL:076-225-1462 E-mail:ontai@pref.ishikawa.lg.jp

URL: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/>